
伊勢崎市教育委員会会議録

平成28年1月18日

伊勢崎市教育委員会

開催年月日
開催の場所

平成28年1月18日(月)
伊勢崎市役所 北館4階会議室

◇ 会 議 日 程 ◇

- 第1 開会宣言
- 第2 会議録署名委員の指名
- 第3 前回会議録の承認
- 第4 会議録署名委員の署名
- 第5 教育長報告
- 第6 事前質問事項
- 第7 議事
- 第8 その他の事項
- 第9 閉会宣言

※出席委員

- 1番 多部田 敬 三
- 2番 萩原 裕 子
- 4番 宮川 亮 子
- 5番 徳江 基 行

※欠席委員

- 3番 大矢 光 利

※説明のため出席した者

- | | |
|----------------|-----------------|
| 教 育 部 長 | 越須賀 隆 一 |
| 教 育 副 部 長 | 萩原 利 美 |
| 総 務 課 長 | 細 井 篤 |
| 教 育 施 設 課 長 | 小 暮 景 一 |
| 学 校 教 育 課 長 | 藤 塚 博 幸 |
| 四ツ葉学園中等教育学校事務長 | 秋 塚 正 美 |
| 健 康 教 育 課 長 | 光 山 悟 |
| 生 涯 学 習 課 長 | 竹 澤 栄 二 |
| 図 書 館 課 長 | 井 野 幸 枝 |
| 文 化 財 保 護 課 長 | 倉 林 亮 (代理 福田 徹) |

※総務課職員出席者

- | | |
|-----|---------|
| 書 記 | 田部井 恵美子 |
| 書 記 | 阿左美 裕 美 |
| 書 記 | 日向野 佑 美 |

開 会

——— 開会宣言 ——
委員長から開会宣言があり、大矢委員が欠席の旨の発言があった。

会議録署名委員の指名

——— 会議録署名委員の指名 ——
委員長から会議録署名委員として5番 徳江委員、2番 萩原委員、議案の説明者として教育部長、教育副部長、総務課長、教育施設課長、学校教育課長、四ツ葉学園中等教育学校事務長、健康教育課長、生涯学習課長、図書館課長、文化財保護課長の指名があった。

前回会議録の承認

——— 前回会議録の承認 ——
12/18の会議録の承認を求め、承認された。

会議録署名委員の署名

——— 会議録署名委員の署名 ———

12/18の会議録の承認があり、署名をいただいた。

12/18 委員長、宮川委員、徳江委員署名

教育長報告

——— 教育長報告 ———

今朝からの雪の対応について報告します。

昨夜の段階で、本日大雪になる警報が出ておりましたので、学校に対しては、天気予報の状況を見て、各学校で対応するように連絡をしました。今朝は、ほとんどの学校が2時間遅れの登校としましたが、赤堀中学校区の4校は休校となっております。また、本日正午すぎに今後の対応について検討しました。本日の下校時刻ですが、小学校は3時、中学校は4時とし、子どもたちには明るいうちに下校してもらいます。

また、明日の朝については、小中学校は2時間遅れの登校、四ツ葉学園は9時30分登校としました。給食についても、登校する場合には適切に対応をしているところであります。現在のところ、けが人や被害の報告は入っておりません。子どもたちの安全面に十分配慮していきたいと思えます。

なお、伊勢崎市としましては、昨日災害対策本部を設け、本日8時30分に三役と各部長で集まって状況確認や対応について進めております。

《学校教育課長》

1. 「平成27年度群馬県教職員表彰の受賞者について」、優秀教職員部門で学習指導及び学校運営の改善の分野から各々1人、奨励部門で学習指導の分野から1人が受賞した旨、資料を基に報告があった。

《四ツ葉学園中等教育学校事務長》

2. 「平成28年度四ツ葉学園中等教育学校入学志願者状況について」、願書受付は1月13日、14日の2日間で実施し、男子111人、女子171人の願書を受け付けた旨、資料を基に報告があった。

《萩原委員》

四ツ葉学園の入学志願者が昨年より増加したということで、とてもうれしく思います。増加した要因を教えてください。

《四ツ葉学園中等教育学校事務長》

平成22年度をピークに若干の減少傾向にありましたが、昨年からは校長をはじめとする教職員が各学校を回って受験を促したことが要因と考えております。

《徳江委員》

県の募集方法との比較も説明してください。

《四ツ葉学園中等教育学校事務長》

昨年度、県の中央中等教育学校では、小学校に提出した願書が届かなかったことがあり、今年度からは志願者個人が直接提出する出願方法に変わりました。一方、四ツ葉学園につきましては、これまでと同様に小学校で願書を取りまとめて提出する方法をとっております。

《徳江委員》

県は、昨年度の不手際から今年度より志願者個人による申し込み方法に変更

しました。これまで、四ツ葉学園と中央中等は色々な部分で足並みを揃えてきましたが、伊勢崎市では、高校入試でも中学校で取りまとめて出願している状況からすれば、小学生が初めての入試に臨むにあたって個人で願書を提出するのは難しく、小学校の先生が関与した方が子どもたちに優しいだろうという結論になりました。そのため、県では個人での申し込みですが、伊勢崎市では従来どおりの小学校を通じた一括申し込み方法をとりました。

さらに、志願者増加の要因として、四ツ葉学園の実績が評価されたと考えております。子どもたちの成果、教職員の努力、四ツ葉学園の仕組み等が評価されたと思っております。

《萩原委員》

小学6年生が一人で申し込むというと、躊躇することがあると思いますので、小学校を經由して申し込む方法は良いですね。四ツ葉学園の色々な面が評価され、志願者の増加につながったということですね。

《徳江委員》

初めて願書を書くので、記入漏れや書き方が分からないといった疑問があると思います。郵送で何度もやりとりするよりも、教員が目を通し、記入ミスや記入漏れを確認した方が出願しやすいだろうという検討結果になりました。

《多部田委員長》

女子の志願者が多いのは、何か理由があるのでしょうか。

《四ツ葉学園中等教育学校事務長》

毎年、女子の志願者が多い傾向にあります。明確な理由は分かりませんが、学校説明会での女子生徒の活躍にあこがれるなどして、女子が希望する傾向にあるのではないかと思います。

《萩原委員》

志願者は市内の子どもがほとんどなのでしょう。

《四ツ葉学園中等教育学校事務長》

市内が約6割、市外が約4割の傾向です。この傾向は、毎年だいたい同じです。

《多部田委員長》

群馬県教職員表彰の優秀教職員部門で表彰された高橋先生は、ICTの活用が評価されて受賞されたということですが、社会ではICTの活用が必須になっていますので、理科の授業に限らず、学校でさらにICTを活用して欲しいと思います。

《徳江委員》

伊勢崎市のICTの活用状況を説明してください。

《学校教育課長》

電子黒板や実物を投影するような機械は、全ての学校に整備されております。また、試験的にですが境島小学校の児童全員がタブレット端末を使っています。来年度予算でも電子教科書を要求していますが、今後色々な場面でICTの活用は増えていくと考えております。

《萩原委員》

高橋先生を知っていますが、いつも首からカメラを提げていて、機械に詳しい先生だったと思います。

《徳江委員》

他の受賞者も紹介します。優秀教職員部門の小保方先生は、四ツ葉学園の教育課程を意識して、質的、量的なところで重要な役割を果たし、優れた実績を残しています。奨励部門というのは、若手の教員を評価する制度です。こちらで受賞した石川先生は、美術の免許ですが、伊勢崎市の小中一貫英語教育の中心となった教員です。その実績を評価され、昨年度は県総合教育センターで県の英語教育にも尽力しました。なお、群馬県教職員表彰にはもう一つ、貢献教職員部門があります。こちらは永年にわたり学校教育の振興に貢献した人を表彰する部門です。

《多部田委員長》

石川先生は、美術と英語が上手くマッチしたのでしょうか。

事前質問

—— 事前質問 ——

なし

議 事

—— 議案 ——

議案第1号「平成28年度教育費に係る伊勢崎市一般会計歳入歳出当初予算の見積りについて」委員長より上程があった。

書記が議案を朗読のあと、教育部長から資料を基に説明がされた。

《萩原委員》

子どもの安心安全のため、十分な教育をするために必要な経費が計上されていることが分かりました。伊勢崎市の子どもたちは手厚く支えられており、幸せだと思いました。また、市民にとっても生涯学習等の面で支えられており、ありがたいと思いました。

《宮川委員》

今年度から新教育委員会制度が始まり1年が過ぎようとしております。総合教育会議の成果や、平成28年度予算に反映されたものがあれば教えてください。

《教育部長》

総合教育会議は、市長部局と教育委員会が教育行政について議論や意見交換をする制度ですが、総合教育会議の中で意見がまとまれば予算計上してまいります。

《徳江委員》

今年度の総合教育会議の内容が、来年度予算のどこに反映したかは中々言えないところですが、伊勢崎市では教育環境の改善というところで、学校のエアコン設置やトイレ改修を他市に先駆けて実施してきました。平成29年度までに校舎トイレは完成し、体育館のトイレも改修整備していく予定です。また、社会教育の公民館でも、耐震化と併せて新しい発想に基づく公民館づくりのために集中的に予算を投入しているところです。北公民館耐震補強事業に12,000万円要求しましたが、その他の公民館でも耐震値が十分でないところは積極的、計画的に予算要求していくとともに、未来を見据えた公民館づくりに取り組んでいきます。

ソフト面で言うと、就学前の3歳児健診での目と耳の検査や、妊娠された方の口内ケアを重点的に他市に先駆けて取り組んでいきます。この辺りのところを総合教育会議で見てください、ご意見をいただければと思っております。

す。

総合教育会議は、市長部局と教育委員会の一体化というところが非常に重要であります。本日のような災害対策でも、教育委員会だけで子どもたちの安全を守るのではなく、市長部局と教育委員会が一体的に行動しております。不徹底なところもあると思いますので、お気づきの点をご指摘ください。

《宮川委員》

北公民館耐震補強の予算要求がされていますが、トイレも古いので、徐々にきれいになると良いと思います。

《生涯学習課長》

北公民館耐震補強事業の中には、トイレの改修も含まれております。

《宮川委員》

ありがとうございます。

《多部田委員長》

先日、文部科学省の教育委員研究協議会に出席させていただきました。全国の教育委員が口を揃えて言っていたのは、予算が足りないということです。それに比べると、伊勢崎市は十分とは言えないかもしれませんが、かなり満ち足りていると感じます。有効に使ってもらいたいと思います。

《教育部長》

学校の耐震補強がほとんど終わり、次はトイレ改修に取り組んでおりますが、国からの補助金が少なくなっている一方で、今後も小中学校のプール改築等の事業が控えており、予算はいくらあっても足りない状況です。少しでも多く予算がつくように、要求していきたいと考えております。

(そのほか質問等はなく、全員異議なく原案のとおり可決された。)

議案第2号「平成28年度伊勢崎市学校給食センター事業費に係る特別会計歳入歳出当初予算の見積りについて」委員長より上程があった。

書記が議案の朗読のあと、教育副部長から資料を基に説明がされた。

《萩原委員》

給食費未納者の未納額は、予算の中に含まれているのでしょうか。

《健康教育課長》

2.3%から2.4%の未納がありますが、滞納整理で納入される額もありますので、金額確定は先になります。

《多部田委員長》

未納問題はあちこちで聞かれますが、伊勢崎市の実態について教えてください。

《健康教育課長》

児童手当から給食費を支払ってもらえるようになりました。未納者へは通知を発送して支払いを督促したり、こちらから出向いて徴収したりしております。学校の先生も努力してくださっておりますし、給食センターと連携して未納分の徴収に取り組んでいるところです。

《徳江委員》

給食費は1年分を12月に分割して口座引落としをしております。口座から引き落とせない人については、学校別一覧表により、学校を通して保護者に連絡をします。過年度未納分についても一覧表があり、学校の担任から連絡

したり、保護者に学校に来ていただいたりして、お願いをしているところです。さらに、中学3年で卒業する際、未納額の多い人については呼び出してお願いをします。それでも未納がある人については、教育委員会が休日に個別訪問をして徴収しております。最終的な未納は1%台ですが、金額にすると1,000万円を超えてきますので、大変憂慮しているところです。

予算額を見ますと、歳入の給食費収入は951,172千円、歳出の学校給食事業費は951,353千円です。つまり、各家庭で納入する給食費がほぼ食材費に充てられており、給食費収入が少なくなるということは食材が買えなくなるということですので、学校も教育委員会も、未納をなくすように努力しております。さらに、就学援助費や児童手当から給食費を天引きすることもしております。

市教育委員会としては、新しい調理場を建設するにあたり、給食事業についてしっかり検討したいと考えております。適正な給食費の額や徴収方法、アレルギー対応等についてしっかり論議し、よりよい給食事業を進めていきたいと考えております。

(そのほか質問等はなく、全員異議なく原案のとおり可決された。)

議案第3号「伊勢崎市教育委員会事務局組織規則及び伊勢崎市学校給食センター条例施行規則の一部を改正する規則案について」委員長より上程があった。

書記が議案の朗読のあと、総務課長から資料を基に説明がされた。

《多部田委員長》

境島小学校を削るところと文言訂正ということですね。

《総務課長》

はい、そうです。

(そのほか質問等はなく、全員異議なく原案のとおり可決された。)

議案第4号「伊勢崎市教育委員会事務局、学校その他の教育機関の職員被服等貸与規則の一部を改正する規則案について」委員長より上程があった。

書記が議案を朗読のあと、総務課長から資料を基に説明がされた。

(質問等はなく、全員異議なく原案のとおり可決された。)

議案第5号「伊勢崎市青少年育成センター条例施行規則及び伊勢崎市あずまホール条例施行規則の一部を改正する規則案について」委員長より上程があった。

書記が議案を朗読のあと、生涯学習課長から資料を基に説明がされた。

《萩原委員》

利用料金の減免はどのような場合に適用されるのですか。

《生涯学習課長》

減免の規定に該当する場合であり、例えば、青少年育成センターでは子どもが利用するときや、あずまホールでは太鼓の練習のときに減免になります。

《萩原委員》

みんなで集まって練習するときなどが減免になるのでしょうか。

《徳江委員》

青少年の育成や文化財の保護活用など、教育委員会が進める事業の趣旨に

<p>その他の事項</p> <p>閉会</p>	<p>合致した場合が減免になります。内規で具体的に該当するものを定めています。</p> <p>《萩原委員》 減免とは、免除のことですか。</p> <p>《生涯学習課長》 はい、ほとんどのケースでは免除です。</p> <p>《教育部長》 減免には、減額と免除があります。</p> <p>《多部田委員長》 教育的な趣旨での利用と営利目的での利用で、利用料が変わってくるということですね。</p> <p>《徳江委員》 はい、そうです。 (そのほか質問等はなく、全員異議なく原案のとおり可決された。)</p> <p>議案第6号「国史跡女堀の追加指定申請に係る意見具申の提出及び管理団体の指定に関する同意について」委員長より上程があった。 書記が議案を朗読のあと、文化財保護課長（代理）から資料を基に説明がされた。</p> <p>《多部田委員長》 女堀は約13キロメートルにわたる規模だったとのことですが、現在ほどのくらい残っているのですか。</p> <p>《文化財保護課長（代理）》 前橋市の桃ノ木川から国定駅手前までの間で堀跡を確認することができます。その中でも、伊勢崎市の赤堀地区では盛土状がはっきり確認できます。前橋地区については盛土状がほとんど見られず、発掘調査で確認された状況です。前橋市では5箇所が断続的に指定されており、伊勢崎市では赤堀地区のみが現在指定されております。 資料の赤いラインのところは今回追加指定するところで、青いラインのところは指定済みのところです。上の写真では、樹木の右側が追加指定するところです。下の写真では、雑木林全体が追加指定するところです。 (そのほか質問等はなく、全員異議なく原案のとおり可決された。)</p> <p>———— その他の事項 ————</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 次回の教育委員会の日程について 2月10日（水）午前10時00分 北館4階会議室 <p>———— 閉会宣言 ———— 以上により閉会する旨の宣言が委員長よりあった。</p>
-------------------------	---

伊勢崎市教育委員会会議録

平成28年2月10日

伊勢崎市教育委員会

開催年月日 開催の場所	平成28年2月10日(水) 伊勢崎市役所 北館4階会議室																										
	<p style="text-align: center;">◇ 会 議 日 程 ◇</p> <p>第1 開会宣言 第2 会議録署名委員の指名 第3 前回会議録の承認 第4 会議録署名委員の署名 第5 教育長報告 第6 事前質問事項 第7 議事 第8 その他の事項 第9 閉会宣言</p> <p>※出席委員</p> <p>1番 多部田 敬 三 2番 萩原 裕 子 3番 大矢 光 利 4番 宮川 亮 子 5番 徳江 基 行</p> <p>※説明のため出席した者</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>教 育 部 長</td> <td>越須賀 隆 一</td> </tr> <tr> <td>教 育 副 部 長</td> <td>萩原 利 美</td> </tr> <tr> <td>総 務 課 長</td> <td>細 井 篤</td> </tr> <tr> <td>教 育 施 設 課 長</td> <td>小 暮 景 一</td> </tr> <tr> <td>学 校 教 育 課 長</td> <td>藤 塚 博 幸</td> </tr> <tr> <td>四ツ葉学園中等教育学校事務長</td> <td>秋 塚 正 美</td> </tr> <tr> <td>健 康 教 育 課 長</td> <td>光 山 悟</td> </tr> <tr> <td>生 涯 学 習 課 長</td> <td>竹 澤 栄 二</td> </tr> <tr> <td>図 書 館 課 長</td> <td>井 野 幸 枝</td> </tr> <tr> <td>文 化 財 保 護 課 長</td> <td>倉 林 亮</td> </tr> </table> <p>※総務課職員出席者</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>書 記</td> <td>田部井 恵美子</td> </tr> <tr> <td>書 記</td> <td>阿左美 裕 美</td> </tr> <tr> <td>書 記</td> <td>日向野 佑 美</td> </tr> </table>	教 育 部 長	越須賀 隆 一	教 育 副 部 長	萩原 利 美	総 務 課 長	細 井 篤	教 育 施 設 課 長	小 暮 景 一	学 校 教 育 課 長	藤 塚 博 幸	四ツ葉学園中等教育学校事務長	秋 塚 正 美	健 康 教 育 課 長	光 山 悟	生 涯 学 習 課 長	竹 澤 栄 二	図 書 館 課 長	井 野 幸 枝	文 化 財 保 護 課 長	倉 林 亮	書 記	田部井 恵美子	書 記	阿左美 裕 美	書 記	日向野 佑 美
教 育 部 長	越須賀 隆 一																										
教 育 副 部 長	萩原 利 美																										
総 務 課 長	細 井 篤																										
教 育 施 設 課 長	小 暮 景 一																										
学 校 教 育 課 長	藤 塚 博 幸																										
四ツ葉学園中等教育学校事務長	秋 塚 正 美																										
健 康 教 育 課 長	光 山 悟																										
生 涯 学 習 課 長	竹 澤 栄 二																										
図 書 館 課 長	井 野 幸 枝																										
文 化 財 保 護 課 長	倉 林 亮																										
書 記	田部井 恵美子																										
書 記	阿左美 裕 美																										
書 記	日向野 佑 美																										
開 会	<p style="text-align: center;">——— 開会宣言 ———</p> <p>委員長から開会宣言があり、全員出席の旨の発言があった。</p>																										
会議録署名委員の指名	<p style="text-align: center;">——— 会議録署名委員の指名 ———</p> <p>委員長から会議録署名委員として2番 萩原委員、3番 大矢委員、議案の説明者として教育部長、教育副部長、総務課長、教育施設課長、学校教育課長、四ツ葉学園中等教育学校事務長、健康教育課長、生涯学習課長、図書館課長、文化財保護課長の指名があった。</p>																										
前回会議録の承認	<p style="text-align: center;">——— 前回会議録の承認 ———</p> <p>1 / 18 の会議録の承認を求め、承認された。</p>																										

会議録署名委員の署名

—— 会議録署名委員の署名 ——

- 1 / 18 の会議録の承認があり、署名をいただいた。
1 / 18 委員長、徳江委員、萩原委員署名

教育長報告

—— 教育長報告 ——

《総務課長》

1. 「伊勢崎市就学前教育・保育のあり方に関する基本方針検討委員会の設置について」、就学前の子どもたちの適正な心身の発達を助長できる適当な教育及び保育環境の整備を図るため、就学前教育・保育のあり方に関する基本方針検討委員会を設置する旨、資料を基に報告があった。
2. 「平成27年度伊勢崎市学校教育振興事業褒章対象者について」、学術や芸術、スポーツ等で優秀な成績を収めた353名の児童生徒を表彰し、記念品を授与する旨、資料を基に報告があった。

《生涯学習課長》

3. 「平成27年度『いせさき元気大賞』の受賞者について」、個人で10名の児童生徒が受賞した旨、資料を基に報告があった。
4. 「いせさき読書まつり2016の開催について」、3月5日、赤堀公民館、赤堀図書館及び赤堀芸術文化プラザにおいて、絵本作家真珠まりこさんの講演会や読書サポーターの読み聞かせ等を開催する旨、資料を基に報告があった。

《文化財保護課長》

5. 「合同遺跡報告会『発掘された古代の役所～最新の発掘調査からみた上野・北武蔵の律令社会～』について」、2月20日、緋の郷円形交流館において、太田市、高崎市、前橋市、埼玉県深谷市及び熊谷市の各教育委員会と協力して合同遺跡報告会を開催する旨、資料を基に報告があった。
6. 「市収蔵資料展『石川泰三展』の開催について」、3月19日から4月10日までの間、赤堀歴史民俗資料館において、伊勢崎町第4代町長を務めた石川泰三に関する資料の展示を行う旨、資料を基に報告があった。

《徳江委員》

合同遺跡報告会は、群馬県の上野国だけでなく埼玉県の武蔵国も含めて、6ヶ所合同での開催となるわけですが、特に見てもらいたい点を説明してください。

《文化財保護課長》

これらの役所跡は、概ね同じ時代の遺跡です。当時の中央政権は近畿地方にありました。関東地方はかなり遠方ですが、地域を支配管理するという同様の目的で役所が置かれたので、それぞれの役所跡には関連性があるものと考えます。その辺りを見ていただければと思います。

《徳江委員》

大変意欲的な活動です。

《多部田委員長》

学校教育振興事業の褒章については、年々受賞者が増えていますが、榛名賞より赤城賞が少ないようです。芸術文化の裾野を広げて、色々な分野を赤城賞の対象としていけば、スポーツだけでなく芸術文化の伊勢崎市となると思いま

すので、より一層の掘り起こしをしてもらえればありがたいです。

《徳江委員》

子どもたちが個人で文化活動に参加するようになってきているのは、この褒章制度の成果もあると思います。

《多部田委員長》

子どもは褒められると非常にうれしいものです。細かいところにもスポットを当てて、吸い上げていただきたいと思います。

《萩原委員》

褒章や元気大賞は、大変喜ばしい制度だと思います。伊勢崎市の「のびのび伸ばそう個性の翼」にあるように、それぞれのお子さんが色々な分野で打ち込めるものを見つけて頑張っていることを感じます。伊勢崎市の未来は、明るく期待が持てると思います。

《徳江委員》

囲碁で伊勢崎市の子どもが優秀な成績を修めている理由は、囲碁の団体の方々、10年以上前から子どもたちに教えてくれているからです。伊勢崎の囲碁の団体は元気が良く、多くの方々が子どもたちを指導してくれています。市民による子どもの育成が成功している例であると捉えております。

《宮川委員》

北第二小学校にも、囲碁の先生が教えに来てくれています。無料で教えてくださっているそうです。囲碁は脳の活性化にも良いですね。

《萩原委員》

ふくしプラザでも、囲碁将棋を活発にしています。地域の力はすごいですね。

《宮川委員》

子どもの活躍を知ることができて、たいへんうれしいです。

《萩原委員》

小さい頃から始めると、ずっと入ってくるのでしょう。

《多部田委員長》

子どもたちの個性を伸ばす意味でも、褒章制度は良いと思います。

《萩原委員》

評価されると、勉強の方面にも結びついてくると思います。

《大矢委員》

スポーツについてですが、県大会から全国大会に進んだ場合に、子どもたちを連れて行く保護者や指導者の負担が大きいという話を聞きます。助成制度はありますか。

《多部田委員長》

遠征に対する助成金ということですね。

《大矢委員》

成績が優秀であるために、苦労が発生するという話を聞きます。

《学校教育課長》

学校の教育活動で関東大会や全国大会に出場する場合には、補助制度があります。ここ数年は予算を上回っており、補正を組んで対応している状況です。一方、社会体育の分野では予算化しておりません。

《徳江委員》

市、県及び全国大会は、子どもの発達段階に即して実施するというのが基本

的な考え方です。上位大会に進んでいくのは、小さな子どもたちにとって負担が大きいため、基本的に小学生の運動では県大会、全国大会がありません。県で表彰されているものは、県大会ではなく県の教室であり、市の代表になった子どもたちが集まって専門的に教えてもらっているものです。

中学生についても、発達段階を考慮して、学校の教育活動として上位大会を認めているものは、総合体育大会、新人戦及び春季大会になります。新人戦と春季大会については、全国大会はありませんので、総合体育大会を補助対象としております。

社会体育については、一生懸命取り組んでもらえることは大変ありがたいのですが、子どもの負担にならないようお願いしたいとの思いです。

《大矢委員》

理解できました。

事前質問

—— 事前質問 ——

なし

議 事

—— 議案 ——

議案第7号「平成27年度教育費に係る伊勢崎市一般会計歳入歳出補正予算(第5号)の見積りについて」委員長より上程があった。

書記が議案を朗読のあと、教育部長から資料を基に説明がされた。

《多部田委員長》

歳入について、総務課の20款、赤堀中学校の発電電力売却代100万円増額ですが、これはいつからいつまでの発電電力売却代が含まれるのでしょうか。

《教育部長》

平成27年4月から平成28年3月までの見積額です。

《総務課長》

3月補正の予算要求をした段階で90万円を超えていましたので、年度末には100万円を超える見込みです。

《多部田委員長》

了解しました。

(そのほか質問等はなく、全員異議なく原案のとおり可決された。)

議案第8号「平成27年度伊勢崎市学校給食センター事業費に係る特別会計歳入歳出補正予算(第2号)の見積りについて」委員長より上程があった。

書記が議案の朗読のあと、教育副部長から資料を基に説明がされた。

《宮川委員》

議案と直接関係ありませんが、先日、学校給食でポークビーンズに異物混入の可能性があるため配食されなかったことがあったと聞きました。何が混入したのか分かりませんが、子どもたちが食べる前に停止できて良かったと思います。今後、このようなことはないようお願いしたいと思います。

《健康教育課長》

ポークビーンズにコンソメを加える予定が、一部加えなかったものを作ってしまった。味に違いがあり、コンソメによるアレルギーの問題もあり

ましたので、配食を中止したものです。保護者の方々には、後日の給食に代替品をつけることで通知しました。ご了承の程、よろしくお願いいたします。(そのほか質問等はなく、全員異議なく原案のとおり可決された。)

議案第9号「平成28年度伊勢崎市教育行政方針について」委員長より上程があった。

書記が議案の朗読のあと、総務課長から資料を基に説明がされた。

《多部田委員長》

最終案とのことですが、大綱との整合性は取れていますよね。

《総務課長》

教育振興基本計画をベースにし、活動づくりの8施策は一致しています。

《萩原委員》

まとめるのは大変だったことと思います。

《多部田委員長》

7番「読書の街づくりの推進」の中に、小中学校図書館との連携がありますが、現状を教えてください。

《図書館課長》

現在はモデル校で実施しています。子どもが特定の本をリクエストしてくるケースや、先生が授業で活用できる本を紹介して欲しいとリクエストしてくるケースなどがあります。来年度に向けた事業拡大を考えており、図書館協議会委員の小学校長とも相談しながら進めてまいります。

(そのほか質問等はなく、全員異議なく原案のとおり可決された。)

議案第10号「赤堀小学校校舎耐震補強工事請負変更契約の締結に係る臨時代理の承認について」委員長より上程があった。

書記が議案を朗読のあと、教育施設課長から資料を基に説明がされた。

《大矢委員》

変更契約額が約3,000万円と決して小さい額ではありません。理由を説明してください。

《教育施設課長》

校舎外壁の吹付け塗装の関係が大きな理由です。足場を組んで状態を直に確認したところ、大幅に劣化が進んでいたことが判明しました。補強面積が、当初112㎡だったものが633㎡に増えました。また、ひびの入り方が予定より大きく深かったことがあります。この他、内装ですが、廊下面の仕上りを全面張替えに変更したことも理由の一つです。

《多部田委員長》

工事期間を教えてください。

《教育施設課長》

平成27年6月26日から平成28年2月29日までを予定しております。

(そのほか質問等はなく、全員異議なく原案のとおり可決された。)

議案第11号「あずま幼稚園園舎改築工事請負変更契約の締結に係る臨時代理の承認について」委員長より上程があった。

書記が議案を朗読のあと、教育施設課長から資料を基に説明がされた。

《多部田委員長》

改築工事の内容を教えてください。

《教育施設課長》

園舎が北、中央、南の3棟ありました。北と南の園舎を解体し、残った中央の園舎の北側に650㎡前後の保育室を新しく建築するものです。

《宮川委員》

中央の園舎を残したのは、比較的新しかったのでしょうか。

《教育施設課長》

中央の園舎は他より建設年が新しく、耐震診断の結果、基準を満たしてありましたので、そのまま使うことになりました。こちらには職員室と遊戯室が配置されています。

《宮川委員》

工事期間中、子どもたちはどこで過ごしているのでしょうか。

《教育施設課長》

工事の流れを説明します。まず、北側の園舎を解体し、新しく建築しました。このとき子どもたちは南側の園舎に移っていました。北側の園舎が完成したところで、子どもたちは北側に移り、最後に南側の園舎を解体する流れです。

《宮川委員》

仮の園舎に移るのでないのであれば、子どもたちの負担が少なく良かったですね。

(そのほか質問等はなく、全員異議なく原案のとおり可決された。)

議案第12号「伊勢崎市立小学校及び中学校通学区域に関する規則の一部を改正する規則案について」委員長より上程があった。

書記が議案を朗読のあと、学校教育課長から資料を基に説明がされた。

《多部田委員長》

境島小学校の統合に伴う改正ということですね。

《学校教育課長》

はい、そうです。

《萩原委員》

行政不服審査法の改正に伴って改正する部分の文言は、柔らかくなり分かりやすくなったと感じました。

《徳江委員》

現在は、利根川の北側にある島村地区が境小学校に通学しており、利根川の南側にある島村地区及び平塚区が境島小学校に通学しております。この度、統合ということになり、島村地区全体が境小学校に、平塚区は境東小学校に通学することになりましたので、行政区単位で同じ小学校に通学することになります。通学については、バスを増便して支障のないように対応します。

《萩原委員》

境小学校か境東小学校か行政区単位で決まるとのことですが、家庭の意見で選択することはできるのでしょうか。

《徳江委員》

通学区の変更願が正当な理由であった場合には認められます。これは島村地区の子どもに限らず、全ての学校に通う子どもについて言えることです。

《学校教育課長》

通学区域審議会において、審議会委員である境島小学校長を通じて地域の意見を取り入れました。利根川の南側の境島小学校エリアについては、希望して指定学校変更の手続きをすれば、どちらの学校にも入れるよう進めていきます。現状の希望調査では、行政区通りの希望でしたので、指定学校変更の手続きをする家庭はありませんが、将来的には変更を希望するケースが出てくるかもしれません。その際には、同様の配慮を続けていく予定です。

《多部田委員長》

境島小学校に限らず、正当な理由があれば指定学校は変更できるということですよ。

《学校教育課長》

はい、そうです。

(そのほか質問等はなく、全員異議なく原案のとおり可決された。)

議案第13号「伊勢崎市立四ツ葉学園中等教育学校受検料等に関する規則の一部を改正する規則案について」委員長より上程があった。

書記が議案を朗読のあと、四ツ葉学園中等教育学校事務長から資料を基に説明がされた。

《萩原委員》

資料3-4裏面、5行目「て」が削除されず残ってしまっています。

《四ツ葉学園中等教育学校事務長》

訂正いたします。

《多部田委員長》

60日が3ヶ月に伸び、言葉が柔らかくなりましたね。

(そのほか質問等はなく、全員異議なく原案のとおり可決された。)

議案第14号「伊勢崎市地域交流センター赤石楽舎条例施行規則の一部を改正する規則案について」委員長より上程があった。

書記が議案を朗読のあと、生涯学習課長から資料を基に説明がされた。

(質問等はなく、全員異議なく原案のとおり可決された。)

その他の事項

——— その他の事項 ———

・次回の教育委員会の日程について

3月17日(木)午後2時00分 北館4階会議室

閉 会

——— 閉会宣言 ———

以上により閉会する旨の宣言が委員長よりあった。

伊勢崎市教育委員会会議録

平成28年3月17日

伊勢崎市教育委員会

開催年月日 開催の場所	<p>平成28年3月17日(木)</p> <p>伊勢崎市役所 北館4階会議室</p> <p>◇ 会 議 日 程 ◇</p> <p>第1 開会宣言 第2 会議録署名委員の指名 第3 前回会議録の承認 第4 会議録署名委員の署名 第5 教育長報告 第6 事前質問事項 第7 議事 第8 その他の事項 第9 閉会宣言</p> <p>※出席委員</p> <p>1番 多部田 敬 三 2番 萩 原 裕 子 3番 大 矢 光 利 4番 宮 川 亮 子 5番 徳 江 基 行</p> <p>※説明のため出席した者</p> <table border="0"> <tr> <td>教 育 部 長</td> <td>越須賀 隆 一</td> </tr> <tr> <td>教 育 副 部 長</td> <td>萩 原 利 美</td> </tr> <tr> <td>総 務 課 長</td> <td>細 井 篤</td> </tr> <tr> <td>教 育 施 設 課 長</td> <td>小 暮 景 一</td> </tr> <tr> <td>学 校 教 育 課 長</td> <td>藤 塚 博 幸</td> </tr> <tr> <td>四ツ葉学園中等教育学校事務長</td> <td>秋 塚 正 美</td> </tr> <tr> <td>健 康 教 育 課 長</td> <td>光 山 悟</td> </tr> <tr> <td>生 涯 学 習 課 長</td> <td>竹 澤 栄 二</td> </tr> <tr> <td>図 書 館 課 長</td> <td>井 野 幸 枝</td> </tr> <tr> <td>文 化 財 保 護 課 長</td> <td>倉 林 亮</td> </tr> <tr> <td>ス ポ ー ツ 振 興 課 長</td> <td>駒 雅 司</td> </tr> </table> <p>※総務課職員出席者</p> <table border="0"> <tr> <td>書 記</td> <td>田部井 恵美子</td> </tr> <tr> <td>書 記</td> <td>阿左美 裕 美</td> </tr> <tr> <td>書 記</td> <td>日向野 佑 美</td> </tr> </table>	教 育 部 長	越須賀 隆 一	教 育 副 部 長	萩 原 利 美	総 務 課 長	細 井 篤	教 育 施 設 課 長	小 暮 景 一	学 校 教 育 課 長	藤 塚 博 幸	四ツ葉学園中等教育学校事務長	秋 塚 正 美	健 康 教 育 課 長	光 山 悟	生 涯 学 習 課 長	竹 澤 栄 二	図 書 館 課 長	井 野 幸 枝	文 化 財 保 護 課 長	倉 林 亮	ス ポ ー ツ 振 興 課 長	駒 雅 司	書 記	田部井 恵美子	書 記	阿左美 裕 美	書 記	日向野 佑 美
教 育 部 長	越須賀 隆 一																												
教 育 副 部 長	萩 原 利 美																												
総 務 課 長	細 井 篤																												
教 育 施 設 課 長	小 暮 景 一																												
学 校 教 育 課 長	藤 塚 博 幸																												
四ツ葉学園中等教育学校事務長	秋 塚 正 美																												
健 康 教 育 課 長	光 山 悟																												
生 涯 学 習 課 長	竹 澤 栄 二																												
図 書 館 課 長	井 野 幸 枝																												
文 化 財 保 護 課 長	倉 林 亮																												
ス ポ ー ツ 振 興 課 長	駒 雅 司																												
書 記	田部井 恵美子																												
書 記	阿左美 裕 美																												
書 記	日向野 佑 美																												
開 会	<p>———— 開会宣言 ————</p> <p>委員長から開会宣言があり、全員出席の旨の発言があった。</p>																												
会議録署名委員の指名	<p>———— 会議録署名委員の指名 ————</p> <p>委員長から会議録署名委員として3番 大矢委員、4番 宮川委員、議案の説明者として教育部長、教育副部長、総務課長、教育施設課長、学校教育課長、四ツ葉学園中等教育学校事務長、健康教育課長、生涯学習課長、図書館課長、文化財保護課長、スポーツ振興課長の指名があった。</p>																												
前回会議録の承認	<p>———— 前回会議録の承認 ————</p> <p>2 / 10 の会議録の承認を求め、承認された。</p>																												

会議録署名委員の署名

—— 会議録署名委員の署名 ——

2 / 10 の会議録の承認があり、署名をいただいた。

2 / 10 委員長、萩原委員、大矢委員署名

教育長報告

—— 教育長報告 ——

《教育部長》

1. 「平成28年第1回伊勢崎市議会定例会における教育委員会に関する一般質問の答弁概要について」、資料を基に報告があった。

《総務課長》

2. 「平成27年度伊勢崎市学校教育振興事業褒賞受賞者（追加推薦・団体人数変更分）について」、新たに1名が追加推薦され、また、団体人数変更（2名減）があった旨、資料を基に報告があった。

《教育施設課長》

3. 「耐震補強事業等工事完了報告について」、耐震補強事業では、平成27年度で全ての小中学校及び幼稚園の耐震化が完了し、トイレ改修事業では、今年度6校が完成、平成28年度までに全ての小学校のトイレを改修する予定であり、また、あずま幼稚園園舎改築事業が完了した旨、資料を基に報告があった。

《健康教育課長》

4. 「伊勢崎市学校給食調理場整備再編計画（案）のパブリックコメント手続の実施について」、3月16日から4月14日までの期間でパブリックコメント手続を実施する旨、資料を基に報告があった。

《宮川委員》

須永議員の質問の降雪による通学路の安全確保について、今年は一昨年の大雪を思い出すかのような大雪でしたが、登校時間を遅らせる等の対応をしていただきありがとうございました。登校時間を遅らせると、親が仕事に出かけてしまう子どもは、自宅に一人でいなくてはならない場合があります。学校に早く行く分には問題がないと聞きましたが、そのことを知らない保護者もいますので、早く行っても構わないということを保護者に知らせたほうが良いと思いました。

《徳江委員》

登校時間を遅らせたり学校に留め置いたりするのは、子どもの足で通えない場合ですので、自宅に一人でおくことが心配なようであれば保護者が責任を持って送迎することを前提とします。保護者が出かける時間なので子どもを登校させるのではなく、保護者が子どもを学校に送り届けてくれるのであれば受け入れるものです。学校が受け入れてくれるからということで、子どもだけで学校に向かわせることは危険です。

《萩原委員》

定方議員の質問の電力自由化について、学校施設の基本料金は一般家庭よりも高いのでしょうか安いのでしょうか。

《教育施設課長》

学校施設は一般家庭とは異なる高圧の業務用電力の契約種別であり、高い基本料金です。

《萩原委員》

契約方法について、今後検討していくのでしょうか。

《教育施設課長》

契約方法については電力自由化になりますので、市長部局とも連携しながら検討していきます。

《宮川委員》

降雪時に融雪剤を散布することがあると思いますが、この前の大雪のときに、男の子が道路の雪を食べているのを見かけました。学校から雪を口に入れないよう指導したほうが良いと思いました。

学校では先生方が校門付近だけでなく、遠いところまで雪かきをしていた様子を見ました。大変ありがたいことだと思いました。

《大矢委員》

北島議員の質問の少人数学級について、赤堀中学校を視察した際に少人数指導を拝見し、恵まれていると感じました。現状では全ての学校で少人数指導を実施しているのでしょうか。

《学校教育課長》

算数と数学については全ての学校で少人数指導ができるよう人を充てております。少人数の教室が取れる学校と取れない学校がありますので、教室が取れない学校では、1つの教室を2人の先生で指導しています。これを含めて、学習集団として20人程度の少人数指導と捉えております。

赤堀中学校のような新設校については、少人数指導ができるように教室数を確保してありますので、1学級を2つに分けて、または2学級を3つに分けて指導をしております。

《徳江委員》

現状の少人数学級は、小学1、2年で30人、小学3、4年と中学1年で35人であり、残りの学年については40人学級です。北島議員は40人学級を30人程度の学級編成にする考えはあるかという質問でした。

学校には、生活集団と学習集団があります。北島議員は、生活集団も学習集団も少人数で行ってくださいという要望でした。伊勢崎市では、高学年の場合は40人学級の生活集団であっても、学習集団としては2つまたは3つに分けて少人数指導に取り組んでおります。

中1ギャップには、勉強ができないことへの心配が大きいとの調査結果があります。いじめや友達関係の心配を大人は考えますが、調査結果によると、教科ごとに担任が変わる仕組みに不安を感じる子どもが多いことが分かっています。伊勢崎市では、教科別に少人数指導をすることによって、クラス担当制から教科担当制へのスムーズな移行が図れるよう実施しています。

《大矢委員》

小学校の1クラスに2人の担任がいるというのは、補助的な対応をしているのですか。

《徳江委員》

やり方として、主になる先生と従になる先生を置く場合と、少人数で人数を等分する場合があります。また、習熟度別に分ける方法と等質に分ける方法もあります。学校現場では、子どもや保護者と相談しながら分け方を決めていきます。

《多部田委員長》

伊勢崎市学校給食調理場整備再編計画(案)のパブリックコメント手続きは、資料の全てを提示して意見公募するのでしょうか。

《健康教育課長》

はい、そうです。

《多部田委員長》

センター方式で12,000食規模というのは、群馬県下で比較するとどのくらいの規模なのでしょうか。

《健康教育課長》

現状では県内で一番大きな規模になります。大規模な調理場になりますが、リスク回避のため2,500食から3,000食を4献立で調理します。また、調理を1回で済ませ、配送車を増やして短時間での提供に努めます。

《多部田委員長》

センター方式のメリットを前面に出すと良いですね。キャッチフレーズなどもあると思います。

《萩原委員》

北島議員の質問の中学卒業時に進路未定の生徒への支援ですが、進路未定の生徒が減っているのは大変喜ばしいことだと思います。一人ひとりに対する丁寧な進路指導等の結果だと思います。引き続き、生徒の自己有用感をしっかり育て、自分を大事にする気持ちを持たせてあげて、進路未定者がゼロになるようお願いします。

《宮川委員》

中卒の就職先はどれくらいあるのか教えてください。

《学校教育課長》

学校が就職について指導する場合にはハローワークを通して行っています。近年ハローワークに出される中卒の求人は大変少なく、縁故等により決める場合が多いと思います。

《萩原委員》

高校中退で就職する場合にも、縁故や先輩の口利き等で就職することが多いようですが、厳しい状況のようです。高校を卒業することが大事だと思います。

事前質問

—— 事前質問 ——

なし

議 事

—— 議案 ——

議案第16号「伊勢崎市立小学校及び中学校管理規則及び伊勢崎市立幼稚園管理規則の一部を改正する規則案について」委員長より上程があった。

書記が議案を朗読のあと、学校教育課長から資料を基に説明がされた。

《萩原委員》

総合教育会議で提案があった教職員多忙の解消につながるものだと思います。心配することなく休めてリフレッシュでき、子どもにも良い影響を与えたいと思います。

《多部田委員長》

完全に休める日があればリフレッシュできますし、良いことです。

《宮川委員》

緊急時の連絡先をしっかりと伝達しておく必要があると思いますので、よろしくをお願いします。

《学校教育課長》

校長会や教頭会の折に、規則改正について進めている旨を話しております。新年度になりましたら、平成28年度夏休みの閉庁について教育委員会から各学校へ通知を出し、各学校からご家庭に閉庁期間中の連絡先について示す準備をするように話しております。

《徳江委員》

実際には、メールや携帯電話を使って担任から保護者に伝わる仕組みや一斉メール、また保護者から担任への連絡手段をほとんどの学校で作っております。

(そのほか質問等はなく、全員異議なく原案のとおり可決された。)

議案第17号「伊勢崎市指定重要文化財の指定について」委員長より上程があった。

書記が議案の朗読のあと、文化財保護課長から資料を基に説明がされた。

《多部田委員長》

棟札が指定文化財になるのでしょうか。

《文化財保護課長》

鬼子母神堂が指定になり、それに付随する棟札も含めた指定となります。棟札が発見されたことで、建築経過や携わった大工等の歴史的背景が明らかになり、価値につながりました。

《萩原委員》

鬼子母神について教えてください。

《文化財保護課長》

鬼子母神とは、夜叉毘沙門天の部下のインドの神の妻で、500人の子の母でした。自分の子を育てる栄養をつけるために人間の子を食べていたため、人間から憎まれておりました。それを見かねた釈迦が彼女の末子を隠したところ、半狂乱となって探し回り、助けを求めて釈迦にすがったそうです。釈迦が、多くの子を持ちながら一人失っただけでそれだけ嘆き苦しむのならば、ただ一人の子を失う親の苦しみはいかほどであろうか、人々を脅かすのは止めるよう諭したところ、彼女は三宝に帰依し、五戒を守るようになり、かくして仏法の守護神となり、子どもと安産の守り神である鬼子母神となったそうです。

《宮川委員》

棟札は最近見つかったのでしょうか。

《文化財保護課長》

棟札は、建物を建てたときに大工が建築や修築経緯を記録して天井に取り付けたものです。通常の家は1枚ですが、寺の屋根裏の調査をしたところもう1枚曼荼羅のようなものが発見され、建物の歴史的背景が明らかになり、価値がはっきりしたものです。

《萩原委員》

市指定重要文化財に指定され、素晴らしいことだと思います。この文化財

が地域とともに受け継がれていくことを応援したい気持ちになりました。

《徳江委員》

この棟札を調べるようになったきっかけを教えてください。

《文化財保護課長》

寺の住職から調査依頼がありました。それを受けて文化財調査委員に調べてもらいました。建物の寸法を測って図面を作成し、天井裏を確認してもらおう等しました。

なお、地域では、毎年11月末に鬼子母神祭を行っております。地元山王町では有名な祭りですが、文化財調査委員会を同日に寺で開催させてもらい、その祭りを見学しました。

《宮川委員》

文化財に興味のある人は限定されていると思いますので、もっとたくさんの人に興味をもってもらえると良いですね。

《文化財保護課長》

今回の指定については、報道機関等への情報提供を行います。新聞等に掲載されることがありましたら、ご覧いただきたいと思います。

《多部田委員長》

知ってもらうことが大事ですね。

(そのほか質問等はなく、全員異議なく原案のとおり可決された。)

議案第18号「平成28・29年度伊勢崎市スポーツ推進委員の委嘱について」委員長より上程があった。

書記が議案の朗読のあと、スポーツ推進課長から資料を基に説明がされた。

《多部田委員長》

全員が新規ですか。

《スポーツ推進課長》

継続が34人、新規が11人です。新規は三郷地区1人、宮郷地区2人、豊受地区4人、赤堀地区2人、境地区2人です。

(そのほか質問等はなく、全員異議なく原案のとおり可決された。)

議案第19号「市教育委員会が任命権を有する教職員の任命について」委員長より上程があった。人事案件のため、秘密会にて審議したい旨の発言があり、委員了承により秘密会での審議となった。

その他の事項

——— その他の事項 ———

・次回の教育委員会の日程について

4月21日(木)午後2時00分 北館4階会議室

・傍聴人の議案書閲覧について

これまで傍聴には議案書を配布していなかったが、平成28年度からは議案書を閲覧させる旨、総務課長から報告があった。

《多部田委員長》

閲覧が可能になるということですね。

《総務課長》

4月から対応させていただきます。

閉

会

—— 閉会宣言 ——

以上により閉会する旨の宣言が委員長よりあった。

伊勢崎市教育委員会会議録

平成28年3月24日

伊勢崎市教育委員会

<p>開催年月日 開催の場所</p>	<p>平成28年3月24日(木) 伊勢崎市役所 本館4階教育委員会室 ◇ 会議日程 ◇ 第1 開会宣言 第2 会議録署名委員の指名 第3 前回会議録の承認 第4 議事 第5 その他の事項 第6 閉会宣言 ※出席委員 萩原 裕子 大矢 光利 宮川 亮子 高橋 慶一 徳江 基行 ※説明のため出席した者 教育部長 越須賀 隆一 教育副部長 萩原 利美 総務課長 細井 篤 ※総務課職員出席者 書記 田部井 恵美子 書記 阿左美 裕美 書記 日向野 佑美</p>
<p>開 会</p>	<p>—— 開会宣言 —— 委員長職務代行者から開会宣言があり、全員出席の旨の発言があった。</p>
<p>会議録署名委員の指名</p>	<p>—— 会議録署名委員の指名 —— 委員長職務代行者から会議録署名委員として大矢委員、宮川委員、議案の説明者として教育部長、教育副部長、総務課長の指名があった。</p>
<p>前回会議録の承認</p>	<p>—— 前回会議録の承認 —— 3/17の会議録については、調整中のため署名はない旨の報告があった。</p>
<p>議 事</p>	<p>—— 議案 —— 議案第20号「伊勢崎市教育委員会委員長の選挙について」 議案第21号「伊勢崎市教育委員会委員長職務代行者の指定について」、委員長職務代行者より一括上程があった。 書記が議案を朗読のあと、総務課長から説明がされた。 伊勢崎市教育委員会委員長選挙、伊勢崎市教育委員会委員長職務代行者の指定について、宮川委員より指名推選との提案があり、全委員の了承後、委員長には萩原委員長職務代行、委員長職務代行者には大矢委員が推選された。本件については、全員一致で承諾し選出された。 会議の席順について、1番 萩原委員、2番 大矢委員、3番 宮川委員、4番 高橋委員、5番 徳江委員とする旨、委員長より提案され、了承された。</p>

<p>その他の事項</p> <p>閉 会</p>	<p>議案第22号「伊勢崎市立幼稚園教育職員の職務の級を分類するための職務の内容に関する規則を廃止する規則案について」</p> <p>書記が議案を朗読のあと、総務課長から資料を基に説明がされた。</p> <p>《徳江委員》</p> <p>今までの給料表は、条例に定めていなかったのですか。</p> <p>《総務課長》</p> <p>伊勢崎市立幼稚園教育職員の給与等に関する条例があり、その下にこの規則がありました。一般職に統合するため、規則を廃止するものです。</p> <p>《徳江委員》</p> <p>教育職という分類がなくなるのですか。</p> <p>《総務課長》</p> <p>伊勢崎市一般職の職員の給与に関する条例の中の、行政職に該当になります。</p> <p>《大矢委員》</p> <p>教育職と行政職の給与の整合性はあるのでしょうか。</p> <p>《総務課長》</p> <p>全く同じです。変更になるところはありません。 (そのほか質問等はなく、全員異議なく原案のとおり可決された。)</p> <p>——— その他の事項 ———</p> <p>・年間スケジュールについて</p> <p>総務課長から資料を基に説明がされた。</p> <p>——— 閉会宣言 ———</p> <p>以上により閉会する旨の宣言が委員長よりあった。</p>
--------------------------	---

伊勢崎市教育委員会会議録

平成28年4月21日

伊勢崎市教育委員会

開催年月日
開催の場所

平成28年4月21日(木)
伊勢崎市役所 北館4階会議室

◇ 会 議 日 程 ◇

- 第1 開会宣言
- 第2 会議録署名委員の指名
- 第3 前回、前々回会議録の承認
- 第4 会議録署名委員の署名
- 第5 教育長報告
- 第6 事前質問事項
- 第7 議事
- 第8 その他の事項
- 第9 閉会宣言

※出席委員

- | | |
|----|------|
| 1番 | 萩原裕子 |
| 2番 | 大矢光利 |
| 3番 | 宮川亮子 |
| 4番 | 高橋慶一 |
| 5番 | 徳江基行 |

※説明のため出席した者

教 育 部 長	萩原利美
教 育 副 部 長	村井通浩
総 務 課 長	細井篤
教 育 施 設 課 長	小野塚博久
学 校 教 育 課 長	三村国宏
四ツ葉学園中等教育学校事務長	山崎芳宣
健 康 教 育 課 長	戸田康一
生 涯 学 習 課 長	竹澤栄二
図 書 館 課 長	井野幸枝
文 化 財 保 護 課 長	福田徹

※総務課職員出席者

書 記	田部井 恵美子
書 記	阿左美 裕美
書 記	金井 愛実

・資料の訂正について

《事務局》

議案第23号の件名を「平成27年度教育費に係る伊勢崎市一般会計歳入歳出補正予算(第6号)の計上に係る臨時代理の承認について」に訂正します。

開 会

—— 開会宣言 ——

委員長から開会宣言があり、全員出席の旨の発言があった。

会議録署名委員の指名

—— 会議録署名委員の指名 ——

委員長から会議録署名委員として3番 宮川委員、4番 高橋委員、議案の説明者として教育部長、教育副部長、総務課長、教育施設課長、学校教育課長、四ツ葉学園中等教育学校事務長、健康教育課長、生涯学習課長、図書館課長、文化財

<p>前回、前々回会議録の承認</p>	<p>保護課長の指名があった。</p> <p>—— 前回、前々回会議録の承認 ——</p> <p>3 / 1 7 及び 3 / 2 4 の会議録の承認を求め、承認された。</p>
<p>会議録署名委員の署名</p>	<p>—— 会議録署名委員の署名 ——</p> <p>3 / 1 7 委員長（事後署名）、大矢委員、宮川委員署名</p> <p>3 / 2 4 委員長、大矢委員、宮川委員署名</p>
<p>教育長報告</p>	<p>—— 教育長報告 ——</p> <p>《学校教育課長》</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「平成28年度伊勢崎市の学校教育方針について」、本市の学校教育が目指す子ども像、総括的な学校教育の方針及び主要事業を定めた旨、資料を基に報告があった。 2. 「伊勢崎教育構想2016リーフレットについて」、学校教育方針に基づき、今年度の重点的な教育構想を定めた旨、資料を基に報告があった。 <p>《四ツ葉学園中等教育学校事務長》</p> <ol style="list-style-type: none"> 3. 「平成28年度四ツ葉学園中等教育学校の入学式について」、第8回入学式が行われ128名が入学した旨、資料を基に報告があった。 4. 「第2期生進路状況について」、第2期生の大学等への合格者数と進学者・就職者数について、資料を基に報告があった。 <p>《健康教育課長》</p> <ol style="list-style-type: none"> 5. 「伊勢崎市学校給食調理場整備再編計画（案）のパブリックコメント手続きの取りまとめについて」、3月16日から4月14日まで実施し、104人から528件（要旨の数77件）の意見が提出された旨、資料を基に報告があった。 <p>《図書館課長》</p> <ol style="list-style-type: none"> 6. 「『こども読書週間』に合わせた各種事業について」、各図書館において、こども読書週間に合わせて親子で参加できる各種事業を開催する旨、資料を基に報告があった。 <p>《文化財保護課長》</p> <ol style="list-style-type: none"> 7. 「平成28年度はたおり体験学習について」、今年度の事業内容と実施日について、資料を基に報告があった。 <p>《宮川委員》</p> <p>こども読書週間のイベントの中の「家族ふれあい読書新聞」ポスター展示については、作った側の励みになりますので、多くの市民の目につくところに展示していただくと良いと思います。</p> <p>《図書館課長》</p> <p>了解しました。</p> <p>《宮川委員》</p> <p>北第二小学校で読書ボランティアをしています。昨年度までは1年生から4年生までの児童を対象に読み聞かせをしていましたが、今年度からは1年生から6年生まで全校児童が対象になりました。読書の街いせさきが広がっており、とてもうれしく思いました。</p>

《萩原委員長》

上毛新聞に全国の図書館の中から伊勢崎市図書館が選ばれて表彰を受ける記事が載っていましたので紹介します。「伊勢崎市図書館では、読書の街いせさきの発展のため、赤ちゃんに絵本をプレゼントするブックスタートや紙芝居の読み聞かせ等を実践、子育て支援情報も提供している」とありました。色々な面でがんばっていると感じ、とてもうれしく思いました。

《図書館課長》

ありがとうございます。今週の土曜日に授賞式があります。その後にご報告を考えておりました。

《徳江委員》

何という名前の賞を受賞したのですか。

《図書館課長》

「平成28年度子どもの読書活動優秀実践図書館 文部科学大臣表彰」というものです。伊勢崎市は、境地区で活動している読み聞かせの会と合わせてのダブル受賞です。県内では他に、高崎市の小学校等が受賞しました。

《大矢委員》

すばらしいですね。

《萩原委員》

がんばってきた甲斐がありましたね。

《高橋委員》

四ツ葉学園中等教育学校第2期生の進路状況を見ると、伸びていることが分かり、いい状態だと思います。生徒たちや先生の意識の変化はありますか。

《四ツ葉学園中等教育学校事務長》

生徒たちは先輩のがんばりを見て刺激を受けています。また、教職員もできるだけ生徒たちが勉強に専念できるよう指導や支援をしております。学校全体が一つの方向に向かって進んでいると感じます。また、生徒たちは将来の目標に向かって自主的に取り組んでおり、これは四ツ葉学園の特色の一つだと思います。

《高橋委員》

期待しています。

《徳江委員》

四ツ葉学園の進路状況は、県教育委員会に説明しました。県教育委員会によれば、国公立大学への進学率が3分の1を占めることが進学校の目安とのことでした。四ツ葉学園は3分の1強が国公立大学に進学ですので、一つのハードルを越えてきたことが分かります。

2020年、学習指導要領の改訂で高校入試が変わります。伊勢崎市は考え表現する力づくりを進めておりますが、四ツ葉学園では7年前の開校時からこの考え方に基づいて取り組んでいます。

《萩原委員長》

国公立大学の合格者数に比べて進学者数が少ないのは、合格しても進学せずにまた挑戦するのでしょうか。

《学校教育課長》

国公立大学に合格しても、私立大学へ進学する生徒がいるためです。

《萩原委員長》

分かりました。

《大矢委員》

学校給食調理場整備再編計画（案）のパブリックコメント手続きですが、たくさんの意見が出たということは関心の高さの表れだと思いました。意見の中には対応できるものもあれば、対応できないものもあると思います。今後どういった形で検討を続けていくのか教えてください。

《健康教育課長》

パブリックコメント手続きについては、案を示した上で広く市民の皆様から意見をいただく趣旨であり、意見の中には計画外のものもあります。方針に基づいて中身を精査し、市として回答させていただきます。その後、具体的な作業を進めてまいります。

《徳江委員》

学校給食調理場については、伊勢崎市が抱える課題があります。課題を解決するための調理場整備再編計画案であり、その計画案に基づいて広く市民の皆さんの意見を聞いて参考にさせていただくものです。盛り込めるものは盛り込み、抱える課題と直接つながらないものは考慮させていただく方向にあります。

《大矢委員》

意見を聞きっぱなしというわけではないのですね。

《徳江委員》

いただいた意見に対しては、しっかり回答いたします。

事前質問

—— 事前質問 ——
なし

議 事

—— 議案 ——

議案第23号「平成27年度教育費に係る伊勢崎市一般会計歳入歳出補正予算（第6号）の計上に係る臨時代理の承認について」委員長より上程があった。書記が議案を朗読のあと、教育部長から資料を基に説明がされた。

《宮川委員》

これから暑い季節になり、子どもたちはプールを楽しみにしていると思います。思い切りプールで泳ぐことは、体の発達や情操教育にも良いことです。しかし、幼稚園のプールは老朽化しているところがあるようです。安全面からも改修を考えたほうが良いところがあるように思いますが、工事請負費の減額分の財源を使って改修工事はできないのでしょうか。

《教育部長》

契約差金につきましては、年度末近くでない事業費が確定しないため、それ以降に差金を使用した工事をするのは工期が厳しく難しいと思われます。要望がある場合については、現地調査を行い、計画的に改修工事を進めさせていただきたいと思います。

《徳江委員》

今回の工事請負費の減額は、教育施設の耐震工事に係わる費用であって、これは国庫補助金の対象です。工事請負費が決定したことによる減額になりますので、国庫補助金も減額になります。この差金については自由に使うこ

とはできません。

《萩原委員長》

使用目的が決まっているということですね。

《徳江委員》

はい、そうです。

《教育部長》

目的が異なる事業への振替はできませんので、耐震事業費を別の事業費に使うことはできません。

《徳江委員》

宮川委員のご意見はもともとだと思いますが、そうできないのが予算です。常に使用目的が決まっており、余った分を他に回すことができません。

《萩原委員長》

それでは、幼稚園のプール改修工事の要望があったということで検討をお願いいたします。

《大矢委員》

次年度以降の検討でしょうか。

《徳江委員》

教育施設整備計画の中に意見を反映させて、計画的に取り組んでいきたいと思えます。

《宮川委員》

熊本で大地震が起こり、今も余震が続いていて、被災された方々は大変な生活を強いられています。日本全国いっどこで震災が起こってもおかしくない状況にありますので、改めて教育施設の耐震化をしていただいてありがたいと思いました。日頃からの備えが大切だと思いました。

《教育部長》

全ての教育施設につきましては、平成27年度末で耐震工事を完了できました。

《徳江委員》

地震との関連で、伊勢崎市が調理場に抱える課題は何かと言うと、耐震化が遅れている現実があります。さらに、衛生基準が合致していないため、早急に新しい耐震基準と衛生基準に合わせた建物を建てる必要があります。また、3.11によって大気中に放射性同位元素が放出されてしまいました。長い期間チェックしていく必要がありますので、自校方式では不可能であり、安心安全な食材をきちんと調達していくためには、自校方式よりも共同調理場方式が良いとの結論になりました。さらに、長い年月の中での人口変動に規模的に対応できるのは、共同調理場方式だと考えているところです。

このように様々な課題を総合的に考慮した結果、伊勢崎市は共同調理場方式を提案し、議会で承認されたところです。

(そのほか質問等はなく、全員異議なく原案のとおり可決された。)

議案第24号「伊勢崎市立北小学校、赤堀南小学校、あずま南小学校、境小学校、第四中学校、殖蓮中学校、宮郷中学校の学校運営協議会委員の委嘱又は任命に係る臨時代理の承認について」委員長より上程があった。

書記が議案の朗読のあと、学校教育課長から資料を基に説明がされた。

《宮川委員》

学校運営協議会・コミュニティスクールは、地域とともにある学校づくりを進める仕組みとして、とても重要な制度です。伊勢崎市でのこれまでの実績や成果を教えてください。

《学校教育課長》

学校運営協議会は、委員の皆さんが学校運営に対して意見を述べる権利や学校人事に対して教育委員会に意見を述べる権利を持つ等、学校評議員に比べて高い力を持っております。この力を活かして、例えば北小学校では、ボランティアによる読み聞かせやプールの補助等、地域の力を学校運営に反映させております。

学校評議員は、校長の求めがなければ意見を述べることはできませんが、学校運営協議会委員は権利として学校運営に関わることができるため、保護者の要望や地域の願いを反映させやすいという利点があります。伊勢崎市では、ふるさと学習や未来力学習講座、地域の学校いきいきプラン等により、他市に比べて、ボランティアが学校に参加する機会が多く、地域住民や保護者の皆さんと力を合わせた学校運営によって、子どもたちの健全育成や質の高い教育を充実させたいと思っております。

《徳江委員》

高橋委員は学校運営協議会委員ですが、内部から見た成果を教えてくださいませんか。

《高橋委員》

委員になって1年足らずですが、去年は先生方と委員がグループに分かれて懇談会をしました。委員が先生方に要求するのではなく、自分たちで学校をどうにかしようとする意識があるところが、学校評議員と違うところだと思います。先生方に負担をかけずに、より良い形で教育活動ができないか思案しながら動いております。子どもたちに体験活動をさせたいという意見が出ましたが、先生に頼むのではなく、地域で何かできないかという共通認識の下で動いております。

《萩原委員長》

教員に負担をかけないようにするところが、これからの方向としても良いですね。

《高橋委員》

地域の中の学校という認識で、地域で学校をつくるという意識が高いと思います。

《徳江委員》

伊勢崎市では、社会性の基盤づくりを最重要課題としています。基礎学力だけではなく、小さい頃から社会と積極的に関わりを持つ必要があると考えます。また、何かを選ぶときの価値観の基準というものを子どもたちは持つ必要があります。さらに、他者との関わりでは合意形成を求めていく力を養っていくことが大事です。未来を描く力も重要です。このような能力を全て学校だけで育成するのは極めて難しいので、地域との関わりの中で子どもたちを総合的に育成していくことが必要です。学校運営協議会の数を少しずつ増やし、地域と連携する中で子どもたちの総合的な人間力を育成していきたいと考えております。

市教育委員会では、平成25年度から子どもたちの道徳性を育成するため、教育行政方針の中で具体的な施策を盛り込みました。また、学校運営協議会のあずま南小学校では、道徳性を育成するための具体的な活動を話し合ってもらっております。

《宮川委員》

伊勢崎市では、学校運営協議会が今年度2校増えたということで、県内でも進んでいると思います。学校運営協議会の導入前と導入後で、子どもたちの変化についてのデータはありますか。

《学校教育課長》

以前は、学校教育は学校の教師だけが学校で行うという認識でした。学校運営協議会の理念により、地域の方々や保護者にも参画をしてもらうことで、自分たちも子どもを育てる主体であり、地域の中に学校があるという認識に変わってきたと思います。地域の学校いきいきプランでは、色々なボランティア活動や地域の力を活用した教育活動があります。ボランティアの数についても、増加傾向にあります。

《宮川委員》

子どものための制度だと思いますので、子どもがどう変化していったかが分かると良いと思います。よろしくをお願いします。

《大矢委員》

すばらしい取り組みだと思います。子どもたちは、身近に接する大人が多ければ多いほど、社会のあり方や仕組みなどを学ぶ機会が増えると思います。学校運営協議会は他の自治体にはない取り組みだということですが、他の学校に広げていく場合、働きかけは教育委員会がするのですか。

《学校教育課長》

地域との関係や保護者の考え等、状況が整ったところから広げていきたいと考えております。学校運営協議会では報酬が出ますので、予算措置と合わせて条件をクリアできたところから広げていきたいと考えております。

《徳江委員》

学校運営協議会は平成19年に北小学校から始まりました。北小学校では新校舎を建設するにあたって、地域で子どもたちを育てていこうということで、特認校としてスタートしました。子どもたちの学びの中に地域の方々が入って、赤石という地域の文化を子どもたちに伝える仕組みと、地域の方々が進んで学校に協力する体制ができあがりました。

赤堀南小学校では、学校運営協議会ができる以前の赤堀町時代から南小フェスタという事業をしています。赤堀南小学校は地域に開かれた学校で、北小学校と同じ趣旨で実践し成果を上げていました。その流れから、市として赤堀南小学校の活動を認めて応援するため、平成25年度から学校運営協議会の中に入れました。

学校運営協議会の校数が増えていくと、進んでいるところと足踏みしているところが出たり、アイデアが固定したりすることがありますので、昨年度からは連絡協議会を立ち上げて、情報交換をする仕組みをつくりました。

《高橋委員》

あずま南小学校では、親の意識を変えていくことを目的に、学校運営協議会の広報誌を学校だよりの形式で出しました。学校運営協議会を地域に知っ

<p>その他の事項</p> <p>閉 会</p>	<p>てもらい、親の認識を変化させるためのものです。先生方が直に言うのは難しいことでも、学校運営協議会から言えることがあります。学校運営協議会で話し合ったことを掲載し、親の意識を変え、子どもに還元されていけば良いと思います。</p> <p>《萩原委員長》</p> <p>すばらしい制度であり、他に誇れる伊勢崎市だと思います。 (そのほか質問等はなく、全員異議なく原案のとおり可決された。)</p> <p>————— その他の事項 —————</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 次回の教育委員会の日程について 5月17日(火) 午前10時00分 北館4階会議室 ・ 臨時会の開催について 青少年育成センター及び赤堀図書館の指定管理者理事長変更に伴い、臨時会を開催する旨、総務課長から報告があった。 <p>————— 閉会宣言 —————</p> <p>以上により閉会する旨の宣言が委員長よりあった。</p>
--------------------------	--

伊勢崎市教育委員会会議録

平成28年5月17日

伊勢崎市教育委員会

開催年月日 開催の場所	平成28年5月17日(火) 伊勢崎市役所 北館4階会議室
	◇ 会 議 日 程 ◇
	第1 開会宣言
	第2 会議録署名委員の指名
	第3 前回会議録の承認
	第4 会議録署名委員の署名
	第5 教育長報告
	第6 事前質問事項
	第7 議事
	第8 その他の事項
	第9 閉会宣言
	※出席委員
	1番 萩原裕子
	2番 大矢光利
	3番 宮川亮子
	4番 高橋慶一
	5番 徳江基行
	※説明のため出席した者
	教 育 部 長 萩原利美
	教 育 副 部 長 村井通浩
	総 務 課 長 細井篤
	教 育 施 設 課 長 小野塚博久
	学 校 教 育 課 長 三村国宏
	四ツ葉学園中等教育学校事務長 山崎芳宣
	健 康 教 育 課 長 戸田康一
	生 涯 学 習 課 長 竹澤栄二
	図 書 館 課 長 井野幸枝
	文 化 財 保 護 課 長 福田徹
	ス ポ ー ツ 振 興 課 長 駒 雅 司
	※総務課職員出席者
	書 記 田部井 恵美子
	書 記 阿左美 裕 美
	書 記 金 井 愛 実
開 会	<p>—— 開会宣言 ——</p> <p>委員長から開会宣言があり、全員出席の旨の発言があった。</p>
会議録署名委員の指名	<p>—— 会議録署名委員の指名 ——</p> <p>委員長から会議録署名委員として4番 高橋委員、5番 徳江委員、議案の説明者として教育部長、教育副部長、総務課長、教育施設課長、学校教育課長、四ツ葉学園中等教育学校事務長、健康教育課長、生涯学習課長、図書館課長、文化財保護課長、スポーツ振興課長の指名があった。</p>
前回会議録の承認	<p>—— 前回会議録の承認 ——</p>

<p>会議録署名委員の署名</p>	<p>4 / 2 1 の会議録の承認を求め、承認された。</p>
<p>教育長報告</p>	<p>——— 会議録署名委員の署名 ——— 4 / 2 1 委員長、宮川委員、高橋委員署名</p>
<p>教育長報告</p>	<p>——— 教育長報告 ———</p> <p>《学校教育課長》</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「子ども日本語教室未来塾業務委託について」、市内小中学校に在籍する外国籍児童生徒等に対し、日本語の習得や教科学習等を支援するため、子ども日本語教室未来塾を業務委託にて実施する旨、資料を基に報告があった。 2. 「伊勢崎市いじめ問題対策連絡協議会条例（案）についてのパブリックコメント結果及び今後のスケジュールについて」、4月13日から5月12日までパブリックコメント手続きを実施した結果、意見は0件であり、今後のスケジュールは、5月30日の総合教育会議及び6月教育委員会会議で審議いただいた後、9月市議会で条例制定を目指す旨、報告があった。 3. 「平成28年度伊勢崎市中学生海外語学研修について」、8月4日から8月17日までの14日間、スプリングフィールド市等において、中学生70名が海外語学研修を行う旨、資料を基に報告があった。 <p>《四ツ葉学園中等教育学校事務長》</p> <ol style="list-style-type: none"> 4. 「海外グローバルリーダー研修の実施について」、5月28日から6月7日までの11日間、スプリングフィールド市において、中等5年生が英語研修や体験活動等を行う旨、資料を基に説明があった。 5. 「学校説明会の開催について」、6月18日、県内の6年生児童及びその保護者を対象に学校説明会を開催する旨、資料を基に報告があった。 <p>《図書館課長》</p> <ol style="list-style-type: none"> 6. 「文部科学大臣表彰の受賞について」、伊勢崎市図書館が子どもの読書活動優秀実践図書館として文部科学大臣表彰に選ばれ、伊勢崎市では市民団体「にじの会」とダブル受賞となった旨、資料を基に報告があった。 <p>《文化財保護課長》</p> <ol style="list-style-type: none"> 7. 「平成28年度伊勢崎市赤堀歴史民俗資料館開館カレンダーについて」、空調工事のため5月17日から7月22日まで臨時休館とし、今年度の開館日数は238日となる旨、資料を基に報告があった。 <p>《高橋委員》</p> <p>いじめ問題対策連絡協議会について、県内他市町村の設置状況を教えてください。</p> <p>《学校教育課長》</p> <p>高崎市、前橋市、渋川市が設置しております。いじめ問題対策連絡協議会は任意で設置するものです。</p> <p>《宮川委員》</p> <p>子ども日本語教室未来塾について、小学生クラス10名、中学生クラス6名とありますが、この人数で実施しているということでしょうか。</p> <p>《学校教育課長》</p> <p>この16名は、国庫補助の対象者です。実際には、もっと多い人数が参加しております。学校外の場所で日本語の勉強ができるということは、素晴らしい</p>

ことだと考えております。

《徳江委員》

委託先のNPO法人Jコミュニケーションは、以前から日本語教育を必要とする子どもたちに日本語教室を実施しており、その活動に対しては、伊勢崎市は国際課から支援しておりました。伊勢崎市には日本語教育を必要とする青少年が多いため、今年度からは金額を増加し、さらに教育委員会の事業としてJコミュニケーションと協力して実施することにしました。学校内にも日本語教室はありますが、それだけでは不十分であり、できるだけ時間数を増やすことが必要です。未来塾では、伊勢崎市が開発した「日本語ステップ」という指導資料を活用し、生活言語と学習言語の向上を目指します。さらに、学齢期を過ぎても日本語が話せない子どもに対しても、未来塾で日本語を習得してもらいたいと考えております。

なお、この事業に対しては、国庫補助として事業費の3分の1を補助してもらえることになりました。今は始まったばかりですが、今後課題を洗い出し、NPO法人や学校と連携しながら充実させていきたいと考えております。

《宮川委員》

希望する子どもは参加できるということですか。

《徳江委員》

はい、参加できます。

《萩原委員長》

外国籍の子どもたちが生活困窮世帯とは限りませんが、様々な境遇の子どもたちが支援を受けて日本語学習や教科学習に取り組むことで、負の連鎖が断たれるように感じました。未来志向のすばらしい事業だと思います。

《徳江委員》

外国人への先入観はなくなっています。例えば、殖蓮第二小学校には日本語、ポルトガル語、英語を同じように話す児童がいます。その子と先日、第二外国語を学ぶためにはどうしたら良いかを話していたときに感じたことは、すばらしい学習意欲と社会に対する問題意識を持っている児童だということでした。意識の高い子どもが、就労に来ている外国人の家庭の中から現れています。そして、日本人の子どもたちに強いインパクトを与えています。伊勢崎市としては、国籍を問わず、どの子どもたちにも学習の機会を与え、育てていくことが重要だと考えております。

《萩原委員長》

大変すばらしいですね。

《徳江委員》

追加説明をします。四ツ葉学園中等教育学校説明会について、昨年度、四ツ葉学園の応募者が増加しました。県内に3つの中等教育学校がありますが、他の2校の応募者が減る中で、四ツ葉学園の応募者は増えてきています。また、四ツ葉学園はこれまで2回卒業生を出しましたが、卒業生たちは四ツ葉学園の教育について、大学に入ってから役に立つと話しているそうです。詳しい説明を、昨年度まで四ツ葉学園の校長であった学校教育課長、お願いします。

《学校教育課長》

四ツ葉学園では、学校説明会で生徒自らが学校の教育の良さや価値をアピールします。そのような点が認められて、順調に推移しているのだと思います。

四ツ葉学園の特色としては、大学で行っているアクティブラーニングのような主体的な活動や交流活動、地域や社会に出て行う探究活動を重視しております。海外語学研修でも、アメリカというフィールドに出て英語を使った探究活動を行い、発表会を実施します。こういった学び方が大学の学び方と一致しているということで、卒業生からは役に立ったという声がたくさん聞かれました。

四ツ葉学園には、6年生から下級生に向けて6年間を振り返ったアドバイスをする会や、夏休みの長野県合宿に卒業生が来て勉強を教えたりする等、フィードバックする仕組みがあります。学校で完結するのではなく、社会に出てからも還元するシステムを作り、学校の価値を高めたいと考えております。

《徳江委員》

四ツ葉学園は大学進学状況も良く、国公立大学への進学が3分の1を超えました。そこで、伊勢崎市中学生海外語学研修では、四ツ葉学園の学び方を取り入れて、四ツ葉のカリキュラムに基づいて実施します。子どもたちは、主体的に海外の方々と交流し、自分の考えを日本語や英語でプレゼンテーションします。海外語学研修に参加する子どもは70名ですが、その後ろには何千人の中学生がいます。この70名を育てるため、同じような教育を中学校でも実践します。伊勢崎市では、一人でも多くの子どもたちに四ツ葉学園の学び方を伝えられるよう、取り組んでおります。

もう一つ、追加説明をします。昨年、図書館新システムを導入しました。図書館では「読書の街いせさき」で各種事業を実施してきましたが、今年度は各学校と連携して、小さい頃から本に親しみ、そしてただ読むだけではなく意図を持って調査をするということを始めるところです。詳しい説明を、図書館課長お願いします。

《図書館課長》

図書館では、まず保健センターで行う10ヶ月健康相談のときにブックスタート事業をしております。そこでは全ての保護者と赤ちゃんに絵本を2冊手渡し、読み聞かせの実体験をしてもらいます。次に会場を図書館に移し、赤ちゃんへ向けての読み聞かせを開催しております。さらに、もう少し大きなお子さんを対象とする読み聞かせや人形劇、展示会等の各種事業を行って、楽しみをつなげております。全ての事業は「本」というものがバックにあり、自分の目や手を使って喜びを体験する事業を数多く展開しております。

しかし、図書館に来ることができない子どももいます。その子どもにとっては、初めての図書館が学校図書室になります。そこで、学校図書室でも図書館と同じような喜びを体験できることを目指し、学校との連携を始めました。昨年11月から、図書館システムと学校図書システムを一つにしました。学校でも図書館の本を検索することができ、図書館と同じ本を借りることができ、また、調べる学習にも力を入れております。先生への支援として、授業に必要な本をリクエストしてもらおうと、図書館で本を選定して届けております。図書館司書が目を選んで本を届けるので、学校側にも喜んでいただいているようです。

《徳江委員》

希望する学校がたくさんあると聞いています。

《萩原委員長》

<p>事前質問</p>	<p>すばらしいですね。</p> <p>《宮川委員》 ブックスタートでプレゼントする本は、毎年同じ本ですか。</p> <p>《図書館課長》 毎年違う本です。</p> <p>《萩原委員長》 ブックスタート事業に参加したことがあります。毎年の絵本がたくさん並んでいました。ありがたいことです。</p> <p>《図書館課長》 兄弟で同じ本になったときには交換しています。</p> <p>—— 事前質問 —— なし</p>
<p>議 事</p>	<p>—— 議案 ——</p> <p>議案第28号「平成27年度伊勢崎市教育委員会事業点検・評価報告書について」委員長より上程があった。</p> <p>書記が議案を朗読のあと、総務課長から資料を基に説明がされた。また、教育委員からの質問事項に対して、担当課長から回答があった。</p> <p>《宮川委員》 質問への回答、ありがとうございました。 (そのほか質問等はなく、全員異議なく原案のとおり可決された。)</p> <p>議案第29号「伊勢崎市奨学生選考委員会委員の委嘱に係る臨時代理の承認について」委員長より上程があった。</p> <p>書記が議案の朗読のあと、学校教育課長から資料を基に説明がされた。</p> <p>《徳江委員》 委嘱の根拠条文は第16条第2項ですか、第3項ですか。</p> <p>《学校教育課長》 第2項です。</p> <p>《宮川委員》 もともと奨学金制度は、成績が優秀でも経済的理由から進学が難しいという限られたお子さんが対象だと思います。しかし、以前に比べて多くの人が大学に進学するようになり、奨学金をもらう人が増えているようです。また、大学を出ただけでは正社員になれなかったり、良い就職先が見つからなかったりする時代です。その結果、奨学金を受けて大学を卒業しても、その後の返済に苦しむ「奨学金貧乏」が社会問題になっています。奨学金というと聞こえが良いのですが、返済の義務がある以上は借金と変わりませんので、借りる側の心構えが重要だと思います。現在の伊勢崎市の奨学金制度について、課題や問題点はありますか。</p> <p>《学校教育課長》 奨学金の貸与資格は3点あります。1点目は学術優秀、品行方正、身体強健であること、2点目は本人または保護者が本市に1年以上住んでいて、高校、短大、大学に進学または在学中であること、3点目は経済的理由により</p>

進学困難であることです。平成27年度末では、高校7名、大学短大10名が希望をしており、既に借りている人を含めると38名になります。経済的理由を重視し、無利子の奨学金を貸与しているところです。国等には無償の奨学金を要望しておりますが、国会で否決されており、引き続き国や県に要望していきたいと考えております。

《宮川委員》

伊勢崎市の奨学金を受けた人の中で、返済に苦しんでいる人はいますか。

《学校教育課長》

90数パーセントの人は計画通り返済していただいておりますが、遅延したり返済方法を少しずつに変えたりしている人もいます。経済状況に合わせて、柔軟に対応させていただいております。

《宮川委員》

奨学金には日本学生支援機構がありますが、こちらの奨学金と伊勢崎市の奨学金の兼ね合いはあるのでしょうか。

《学校教育課長》

兼ね合いはありません。伊勢崎市の貸与額は、高校が年額12万円、大学短大が年額30万円です。国や民間から借りた上で、さらに借りたい人が伊勢崎市の奨学金制度を利用するようです。

《宮川委員》

両方から借りることが可能なのですね。

《学校教育課長》

はい、可能です。

《徳江委員》

今の時代、ほとんどの人が進学をする中で、経済的に困難な方については貸与型ではなく給付型の奨学金があったほうが良いのではないかとのご意見だと思います。現在の伊勢崎市の奨学金制度は、寄附を原資にしています。給付型の奨学金では、財源が限られた期間で終わってしまうため、継続していかないという課題があります。財源の問題や公平性の問題等、色々な視点から検討していく必要がありますが、重要な仕組みですので、今後の課題とさせていただきたいと思います。

(そのほか質問等はなく、全員異議なく原案のとおり可決された。)

議案第30号「伊勢崎市社会教育委員の委嘱に係る臨時代理の承認について」委員長より上程があった。

書記が議案の朗読のあと、生涯学習課長から資料を基に説明がされた。

《宮川委員》

社会教育委員は今までどのような活動をされてきたのでしょうか。また、今年度の活動計画を教えてください。

《生涯学習課長》

県主催の講習会や研修会等含めて、毎年4回程度の会議があります。

(そのほか質問等はなく、全員異議なく原案のとおり可決された。)

議案第31号「伊勢崎市公民館運営審議会委員の委嘱に係る臨時代理の承認について」委員長より上程があった。

書記が議案の朗読のあと、生涯学習課長から資料を基に説明がされた。

《萩原委員長》

任期2年とのことですが、再任はあるのですか。

《生涯学習課長》

はい、あります。

《萩原委員長》

何回でも再任できるということですね。

《生涯学習課長》

はい、そうです。

《宮川委員》

時々北公民館を利用しています。先日、子どもと一緒に書道教室に参加しました。子どもは初めての書道で貴重な体験をさせてもらいました。知り合いは毎回その書道教室に参加しているそうです。皆さんがやってみたいと思ような活動を続けていって欲しいと思います。

《徳江委員》

公民館運営審議会は、公民館の運営について審議するためのものです。現在、伊勢崎市の公民館は利用が多く、新規参入が難しい状況にあり、市民の方々に公平に利用してもらうためにはどうしたら良いかということが一つの課題になっています。色々な専門分野から委員を選んで、公民館の運営について意見をいただいております。

先ほどの社会教育委員についても同じで、例えば人権やDV、子育ての問題等、地域社会が抱える問題について、それぞれの分野の方から意見をいただき、生涯学習課として社会教育の方向性を決めております。そのような中で、年4回程度、県の講習会や社会教育委員の役割を学ぶ研修会、情報交換や審議をする時間を設けております。

(そのほか質問等はなく、全員異議なく原案のとおり可決された。)

議案第32号「伊勢崎市スポーツ推進審議会委員の委嘱に係る臨時代理の承認について」委員長より上程があった。

書記が議案の朗読のあと、スポーツ振興課長から資料を基に説明がされた。

《萩原委員長》

スポーツ推進審議会委員は、どのような活動をしているのでしょうか。

《スポーツ振興課長》

スポーツ振興において、市の活動や事業の方向を決めています。これまで、プール指定管理者導入についての審議、体育施設における市内65歳以上の人の個人利用無料についての審議、全国大会に出場する選手等への壮行金交付基準の改正についての審議等がありました。

(そのほか質問等はなく、全員異議なく原案のとおり可決された。)

その他の事項

——— その他の事項 ———

・ 次回の教育委員会の日程について

6月21日(火) 午後3時00分 宮郷中学校

閉 会

——— 閉会宣言 ———

	以上により閉会する旨の宣言が委員長よりあった。
--	-------------------------

伊勢崎市教育委員会会議録

平成28年6月21日

伊勢崎市教育委員会

開催年月日 開催の場所	<p>平成28年6月21日(火) 宮郷中学校</p> <p>◇ 会 議 日 程 ◇</p> <p>第1 開会宣言 第2 会議録署名委員の指名 第3 前回会議録の承認 第4 会議録署名委員の署名 第5 教育長報告 第6 事前質問事項 第7 議事 第8 その他の事項 第9 閉会宣言</p> <p>※出席委員</p> <p>1番 萩原裕子 3番 宮川亮子 4番 高橋慶一 5番 徳江基行</p> <p>※欠席委員</p> <p>2番 大矢光利</p> <p>※説明のため出席した者</p> <table border="0"> <tr> <td>教 育 部 長</td> <td>萩 原 利 美</td> </tr> <tr> <td>教 育 副 部 長</td> <td>村 井 通 浩</td> </tr> <tr> <td>総 務 課 長</td> <td>細 井 篤</td> </tr> <tr> <td>教 育 施 設 課 長</td> <td>小野塚 博久</td> </tr> <tr> <td>学 校 教 育 課 長</td> <td>三 村 国 宏</td> </tr> <tr> <td>四ツ葉学園中等教育学校事務長</td> <td>山 崎 芳 宣</td> </tr> <tr> <td>健 康 教 育 課 長</td> <td>戸 田 康 一</td> </tr> <tr> <td>生 涯 学 習 課 長</td> <td>竹 澤 栄 二</td> </tr> <tr> <td>図 書 館 課 長</td> <td>井 野 幸 枝</td> </tr> <tr> <td>文 化 財 保 護 課 長</td> <td>福 田 徹</td> </tr> </table> <p>※総務課職員出席者</p> <table border="0"> <tr> <td>書 記</td> <td>田部井 恵美子</td> </tr> <tr> <td>書 記</td> <td>阿左美 裕 美</td> </tr> <tr> <td>書 記</td> <td>金 井 愛 実</td> </tr> </table>	教 育 部 長	萩 原 利 美	教 育 副 部 長	村 井 通 浩	総 務 課 長	細 井 篤	教 育 施 設 課 長	小野塚 博久	学 校 教 育 課 長	三 村 国 宏	四ツ葉学園中等教育学校事務長	山 崎 芳 宣	健 康 教 育 課 長	戸 田 康 一	生 涯 学 習 課 長	竹 澤 栄 二	図 書 館 課 長	井 野 幸 枝	文 化 財 保 護 課 長	福 田 徹	書 記	田部井 恵美子	書 記	阿左美 裕 美	書 記	金 井 愛 実
教 育 部 長	萩 原 利 美																										
教 育 副 部 長	村 井 通 浩																										
総 務 課 長	細 井 篤																										
教 育 施 設 課 長	小野塚 博久																										
学 校 教 育 課 長	三 村 国 宏																										
四ツ葉学園中等教育学校事務長	山 崎 芳 宣																										
健 康 教 育 課 長	戸 田 康 一																										
生 涯 学 習 課 長	竹 澤 栄 二																										
図 書 館 課 長	井 野 幸 枝																										
文 化 財 保 護 課 長	福 田 徹																										
書 記	田部井 恵美子																										
書 記	阿左美 裕 美																										
書 記	金 井 愛 実																										
開 会	<p>———— 開会宣言 ————</p> <p>委員長から開会宣言があり、大矢委員が欠席の旨の発言があった。</p>																										
会議録署名委員の指名	<p>———— 会議録署名委員の指名 ————</p> <p>委員長から会議録署名委員として5番 徳江委員、3番 宮川委員、議案の説明者として教育部長、教育副部長、総務課長、教育施設課長、学校教育課長、四ツ葉学園中等教育学校事務長、健康教育課長、生涯学習課長、図書館課長、文化財保護課長の指名があった。</p>																										
前回会議録の承認	<p>———— 前回会議録の承認 ————</p> <p>5 / 17の会議録の承認を求め、承認された。</p>																										

会議録署名委員の署名

—— 会議録署名委員の署名 ——

5 / 17 の会議録の承認があり、署名をいただいた。

5 / 17 委員長、高橋委員、徳江委員署名

教育長報告

—— 教育長報告 ——

《教育部長》

1. 「平成28年第3回伊勢崎市議会定例会における一般質問等の答弁概要について」、資料を基に報告があった。

《総務課長》

2. 「就園状況・就園ニーズ等に関する保護者アンケートの結果（速報）について」、市内に在住する0～2歳の子の保護者2,000人を対象としたアンケートの結果（速報）について、資料を基に報告があった。

《学校教育課長》

3. 「不登校重大事態の対応について」、相当の期間学校を欠席する児童生徒について、学校復帰への支援と再発防止のための指針を定めた旨、資料を基に報告があった。

4. 「平成28年度学校経営訪問について」、教職員の指導力の向上や生徒指導等の改善・充実を図るため、事務局職員等が学校及び幼稚園に直接出向いて指導援助に当たる旨、資料を基に報告があった。

《四ツ葉学園中等教育学校事務長》

5. 「平成29年度伊勢崎市立四ツ葉学園中等教育学校入学者募集要項について」、応募資格や募集定員、出願手続、選抜検査とその方法、選抜日程等について、資料を基に報告があった。

《健康教育課長》

6. 「伊勢崎市学校給食調理場整備再編計画（案）に対するパブリックコメント手続きに係る結果の公表について」、3月16日から4月14日までの30日間で実施したパブリックコメント手続きに係る意見の要旨とそれに対する市の考え方を公表する旨、資料を基に報告があった。

《生涯学習課長》

7. 「少年の主張伊勢崎市大会の開催について」、6月25日午後2時から伊勢崎市あずまホールにおいて開催する旨、資料を基に報告があった。

《宮川委員》

就園状況・就園ニーズ等に関する保護者アンケートは、公立幼稚園がこれからのようになっていったら良いかという趣旨のアンケートだと思います。認定こども園に関する意見も多かったようですが、今後、公立幼稚園が認定こども園に移行していくことはあるのでしょうか。

《総務課長》

就学前教育・保育のあり方に関する検討委員会において、公立幼稚園のあり方についても検討していただき提言をいただきます。その提言を踏まえ、最終的には教育委員会で決定することになります。認定こども園に移行する意見が出るかどうかは分かりませんが、保護者の就労状況に関わらず利用できる認定こども園に移行する施設は増えてきており、国も認定こども園への移行を増やしていく方針を出しております。私立にも公立にもこの流れはあろうかと思

ます。

《徳江委員》

このアンケートは、43.5%という非常に高い回答率であり、貴重な意見が寄せられております。この調査結果は重い意味を持ちますので、調査結果を基に、検討委員会等を使って今後の就学前教育のあり方について検討していきたいと考えております。

《高橋委員》

パブリックコメント手続きに係る結果についての報告がありましたが、食物アレルギーの対応は、現状を維持するのが良いと思います。色々な児童生徒、保護者がおりますので、学校現場でしっかりと個々の状況を把握することが大切です。除去食対応は良いことですが、すぐ行うことは難しいでしょう。まずは、現状の詳細献立による対応をきちんとやっていくことがベストだと思います。

新しい調理場ができれば可能になると思われるかもしれませんが、今ある調理場でも同様の対応ができるかということを考えると、時間をかけて確認してから動く方が良いと考えます。良い意見をいただきましたが、信頼と安全を提供するにはかなりの時間を要します。今はレベル1、2のアレルギー対応を積み上げていくことが重要だと思います。良い調理場ができることを期待しています。

《宮川委員》

学校給食は栄養バランスがとれた魅力あるものです。アレルギーを持つお子さんの保護者にとって、除去食の提供は本当にありがたいことだと思いますが、今すぐ対応することは難しいと思います。年数をかけて少しずつでも体制を整えていくことはできないのでしょうか。

《徳江委員》

過去には、アレルギー対応食をしていたにも関わらず、隣の席の給食を食べてしまい大変な事態になったという事故がありました。そのお子さんは命を失うという最悪の悲劇になりました。保護者からいただいた正確な情報に基づいたアレルギー対応食を作ることに加えて、クラス子ども達や教員に良く理解してもらわないと、間違いが起こる危険があります。命に関わると取り返しがつきませんので、この辺りの合意形成に時間がかかります。今後の研究課題として除去食を検討していく必要は十分にあると思いますが、今の伊勢崎市の現状では、子ども達の命を最優先に、現行を基本として考えていくことが大事だと思います。

《宮川委員》

新学校給食調理場の衛生面について、野菜や食器の洗浄保管区域を分離したり、温度管理システムを導入したり、細かい気配りがされていると思います。それでも食べ物を扱っているのです、何かあったときのために民間の食品工場等では防犯カメラを設置する所も少なくないと聞きます。調理員を監視するという意味ではなく、何か事故があったとき疑いがかからないよう調理員を守る意味だそうです。この機会に防犯カメラの設置を検討することは困難でしょうか。

《健康教育課長》

過去に、冷凍食品加工会社で従業員の事件事故がありました。カメラの設置

<p>事前質問</p>	<p>は監視をする意味もあると思いますが、何かあったときに原因の把握につながります。また、事故の抑止だけでなく、カメラを設置することにより作業動線の効率を検証できる可能性もありますので、検討してみたいと思います。</p> <p>—— 事前質問 ——</p> <p>なし</p>
<p>議 事</p>	<p>—— 議案 ——</p> <p>議案第33号「伊勢崎市学校給食運営委員会委員の委嘱等に係る臨時代理の承認について」委員長より上程があった。</p> <p>書記が議案を朗読のあと、健康教育課長から資料を基に説明がされた。 (質問等はなく、全員異議なく原案のとおり可決された。)</p> <p>議案第34号「伊勢崎市人権教育推進委員会委員の委嘱等に係る臨時代理の承認について」委員長より上程があった。</p> <p>書記が議案の朗読のあと、生涯学習課長から資料を基に説明がされた。</p> <p>《萩原委員長》 人権教育推進委員と人権擁護委員との違いについて教えてください。</p> <p>《生涯学習課長》 人権教育推進委員は、人権教育を積極的に推進することを目的に、年1回会議を開催しており、今年度は6月28日開催予定です。会議内容は、人権教育基本方針及び人権教育行政構想の確認、人権教育・啓発事業に係る平成27年度事業検証と平成28年度事業計画の確認、人権啓発ビデオの視聴等になります。</p> <p>《徳江委員》 人権教育推進委員は、人権教育の視点から行政施策に対し意見することが主な役割です。人権擁護委員は人権侵害を受けた人を支援する立場にあります。 (そのほか質問等はなく、全員異議なく原案のとおり可決された。)</p> <p>議案第35号「伊勢崎市学校給食調理場整備再編計画(案)について」委員長より上程があった。</p> <p>書記が議案の朗読のあと、健康教育課長から資料を基に説明がされた。</p> <p>《徳江委員》 平成27年度3月、各学校現場に対しアレルギー対応についての現状調査をしました。各学校では、群馬県医師会が作成したアレルギー対応マニュアルを活用し、アレルギーのある児童生徒の対応をしています。その状況について調査した結果によると、学校現場は、保護者から正確な情報を得ることに一番苦慮していました。アンケート結果を重く受け止めて、再編計画(案)の一部変更をさせていただきました。</p> <p>《健康教育課長》 食物アレルギー対応の検討過程について補足します。本年2月18日の学校給食運営委員会において、学校現場の意見を確認した上で結論を出すことになり、アレルギー対応に携わる教職員に対して食物アレルギー対応実施状</p>

況調査を行いました。さらに、パブリックコメントに寄せられた意見等も踏まえ、5月31日の学校給食運営委員会において、パブリックコメント意見に対する市の考え方を示した上で、今回の再編計画（案）に至ります。

《高橋委員》

現場にいた経験から話します。配布物を回収することは大変なことです。自分の子どもにアレルギーがあっても、保護者には色々な要素があり、家庭訪問や面談をしても上手くいかない場面があり、これをきちんとしていくにはかなりの時間がかかります。大きな学校になるほど、確認には時間を要します。例えば、1年目は提出してもらえても2年目になると昨年提出したからということで提出してもらえないことがあります。こういうときは、電話では難しく、家庭訪問が必要になります。アレルギー対応マニュアルができて今年で4年目になりますが、始まったばかりの頃はとても大変だったと思います。時間をかけてしっかり対応していく必要があります。

新給食調理場はアレルギー対策室を設けないことになりましたが、将来的にはどう考えているのでしょうか。もし設けるとなると、各調理場に作ることになるのでしょうか。

《健康教育課長》

最初にお話のあった管理指導表の提出の件については、昨年度は食物アレルギーを有する児童生徒の保護者からの申告が1,060人でした。そのうち管理指導表を提出してもらえた方は493人、自己申告はしたものの診断の結果提出の必要がなかった方は372人、現在も未提出の方は195人います。保護者と学校現場、調理場が、最新の情報を常に共有できなければ、非常にリスクの高いことであり、安易にできないと考えます。

現段階ではレベル1及び2での対応としますが、今後10年20年と考えた場合には、アレルギー対策室について状況に応じた対応ができるように注視したいと思っております。

(そのほか質問等はなく、全員異議なく原案のとおり可決された。)

その他の事項

——— その他の事項 ———

・雑誌掲載について

建築ジャーナル6月号に赤堀中学校が掲載された旨、資料を基に情報提供があった。

・次回の教育委員会の日程について

7月19日（火）午後2時00分 教育研究所

閉 会

——— 閉会宣言 ———

以上により閉会する旨の宣言が委員長よりあった。

伊勢崎市教育委員会会議録

平成28年7月19日

伊勢崎市教育委員会

開催年月日
開催の場所

平成28年7月19日(火)
教育研究所

◇ 会議日程 ◇

- 第1 開会宣言
- 第2 会議録署名委員の指名
- 第3 前回会議録の承認
- 第4 会議録署名委員の署名
- 第5 教育長報告
- 第6 事前質問事項
- 第7 議事
- 第8 その他の事項
- 第9 閉会宣言

※出席委員

- 1番 萩原裕子
- 2番 大矢光利
- 3番 宮川亮子
- 4番 高橋慶一
- 5番 徳江基行

※説明のため出席した者

教 育 部 長	萩 原 利 美
教 育 副 部 長	村 井 通 浩
総 務 課 長	細 井 篤
教 育 施 設 課 長	小野塚 博 久
学 校 教 育 課 長	三 村 国 宏
四ツ葉学園中等教育学校事務長	山 崎 芳 宣
健 康 教 育 課 長	戸 田 康 一
生 涯 学 習 課 長	竹 澤 栄 二
図 書 館 課 長	井 野 幸 枝
文 化 財 保 護 課 長	福 田 徹

※総務課職員出席者

書 記	田部井 恵美子
書 記	阿左美 裕 美
書 記	金 井 愛 実

開 会

—— 開会宣言 ——
委員長から開会宣言があり、全員出席の旨の発言があった。

会議録署名委員の指名

—— 会議録署名委員の指名 ——
委員長から会議録署名委員として2番 大矢委員、3番 宮川委員、議案の説明者として教育部長、教育副部長、総務課長、教育施設課長、学校教育課長、四ツ葉学園中等教育学校事務長、健康教育課長、生涯学習課長、図書館課長、文化財保護課長の指名があった。

前回会議録の承認

—— 前回会議録の承認 ——

<p>会議録署名委員の署名</p>	<p>6 / 2 1 の会議録の承認を求め、承認された。</p> <p>——— 会議録署名委員の署名 ———</p> <p>6 / 2 1 の会議録の承認があり、署名をいただいた。 6 / 2 1 委員長、徳江委員、宮川委員署名</p>
<p>教育長報告</p>	<p>——— 教育長報告 ———</p> <p>《学校教育課長》</p> <p>1. 「平成28年度群馬県中体連春季大会結果について」、団体の部及び個人の部の結果について、資料を基に報告があった。</p> <p>《四ツ葉学園中等教育学校事務長》</p> <p>2. 「平成28年度群馬県高体連関係大会結果について」、後期課程の高校総体・インターハイ予選結果について、資料を基に報告があった。</p> <p>《生涯学習課長》</p> <p>3. 「少年の主張中部地区大会について」、8月6日に渋川市北橋公民館において開催される中部地区大会に、伊勢崎市大会から推薦された5名が出場する旨、報告があった。</p> <p>《図書館課長》</p> <p>4. 「夏休み子ども向け各種事業について」、各図書館において、読書感想文の書き方講座をはじめとする各種事業を開催する旨、資料を基に報告があった。</p> <p>《文化財保護課長》</p> <p>5. 「『伊勢崎市赤堀歴史民俗資料館夏休みキッズデー』の開催について」、8月4日、5日の2日間、はたおり体験やプラ板ストラップ作り等を開催する旨、資料を基に報告があった。</p> <p>6. 「国指定史跡『女堀』の追加指定に係る国文化審議会の答申について」、6月17日、国の文化審議会から文部科学大臣に追加指定するよう答申があり、これにより、10月に予定される官報告示を経て国指定史跡に追加指定される見込みである旨、資料を基に報告があった。</p> <p>《宮川委員》</p> <p>少年の主張伊勢崎市大会を聞かせていただきました。どの生徒さんの発表も自分の実体験に基づいた説得力ある内容で、大変すばらしいと思いました。中部地区大会や県大会に向けて、代表の生徒さんにはがんばってもらいたいです。</p> <p>《萩原委員長》</p> <p>例年、学校代表に選ばれる男子生徒が少ない中で、今年は代表に選ばれた男子生徒3名が全員中部地区大会に進めることになり、拍手を送りたいと思います。選ばれた生徒さんは、本当に良くがんばって立派です。指導に当たられた先生方や関係する皆さんに感謝します。</p> <p>《高橋委員》</p> <p>読書感想文の書き方講座は4つの図書館で開催されますが、人数はどれくらい集まるのでしょうか。</p> <p>《図書館課長》</p> <p>各図書館の収容人数の関係で、あずま図書館は90名、赤堀図書館は赤堀公</p>

民館を会場にして60名、伊勢崎市図書館は30名、境図書館は40名です。募集開始から1時間程度で、伊勢崎市図書館と境図書館は定員に達しました。募集人数が多いあずま図書館と赤堀図書館は、まだ10名程度の余裕があります。

《徳江委員》

夏休み子ども向け事業を色々と報告してもらいましたが、児童生徒の皆さんは、夏休みに多様な体験をして、地域の中で学びの幅を広げることが大事です。子どもたちが参加するよう、先生から指導してもらいたいと思っています。

《萩原委員長》

夏休みは図書館に親しめる絶好の機会です。図書館は、いつも新しいアイデアを実行しており、素晴らしいと思います。本が大好きな子どもがたくさん育つよう、期待しています。

《宮川委員》

親の立場からも、たくさんのイベントを開催してもらえることはありがたいです。私は、読書感想文の書き方講座の申込みを伊勢崎市図書館にしたところ、既に定員で、あずま図書館に申し込みをしました。学校では、読書感想文の書き方についての指導はあるのでしょうか。

《高橋委員》

小学校では、国語の時間に1時間程度教えると思います。中学校はやらないかもしれません。

《宮川委員》

学校の短い時間で理解するのは難しいと思いますので、読書感想文の書き方講座はありがたいです。

《図書館課長》

繰り返し受講する子どももいます。毎年やっていくうちに、コツを自分なりにつかむようだという保護者の感想をいただいております。

《学校教育課長》

夏休み中の各種事業を企画していただき、ありがとうございます。今年度は学校教育課でも、夏休みの勉強塾において基礎的な学習を行うほか、地域の子どもは地域で育てるという観点から、地域の活動に幅広く参加をするよう積極的に子どもたちに呼びかけていきます。勉強塾の集約についても、地域の活動にどれだけ参加したかということも調査し、次年度に反映していきたいと考えております。

事前質問

—— 事前質問 ——
なし

議 事

—— 議案 ——
議案第36号「平成29年度使用教科用図書の採択について」委員長より秘密会にて審議したい旨の発言があり、委員了承により秘密会での審議となった。

その他の事項

—— その他の事項 ——
・ 次回の教育委員会の日程について
8月18日（木）午後2時00分 赤堀公民館

閉

会

—— 閉会宣言 ——

以上により閉会する旨の宣言が委員長よりあった。

伊勢崎市教育委員会会議録

平成28年8月18日

伊勢崎市教育委員会

開催年月日 開催の場所	<p>平成28年8月18日(木) 赤堀公民館</p> <p>◇ 会 議 日 程 ◇</p> <p>第1 開会宣言 第2 会議録署名委員の指名 第3 前回会議録の承認 第4 会議録署名委員の署名 第5 教育長報告 第6 事前質問事項 第7 議事 第8 その他の事項 第9 閉会宣言</p> <p>※出席委員</p> <p>1番 萩原裕子 2番 大矢光利 3番 宮川亮子 4番 高橋慶一 5番 徳江基行</p> <p>※説明のため出席した者</p> <table border="0"> <tr><td>教 育 部 長</td><td>萩 原 利 美</td></tr> <tr><td>教 育 副 部 長</td><td>村 井 通 浩</td></tr> <tr><td>総 務 課 長</td><td>細 井 篤</td></tr> <tr><td>教 育 施 設 課 長</td><td>小野塚 博 久</td></tr> <tr><td>学 校 教 育 課 長</td><td>三 村 国 宏</td></tr> <tr><td>四ツ葉学園中等教育学校事務長</td><td>山 崎 芳 宣</td></tr> <tr><td>健 康 教 育 課 長</td><td>戸 田 康 一</td></tr> <tr><td>生 涯 学 習 課 長</td><td>竹 澤 栄 二</td></tr> <tr><td>図 書 館 課 長</td><td>井 野 幸 枝</td></tr> <tr><td>文 化 財 保 護 課 長</td><td>福 田 徹</td></tr> </table> <p>※総務課職員出席者</p> <table border="0"> <tr><td>書 記</td><td>田部井 恵美子</td></tr> <tr><td>書 記</td><td>阿左美 裕 美</td></tr> <tr><td>書 記</td><td>金 井 愛 実</td></tr> </table>	教 育 部 長	萩 原 利 美	教 育 副 部 長	村 井 通 浩	総 務 課 長	細 井 篤	教 育 施 設 課 長	小野塚 博 久	学 校 教 育 課 長	三 村 国 宏	四ツ葉学園中等教育学校事務長	山 崎 芳 宣	健 康 教 育 課 長	戸 田 康 一	生 涯 学 習 課 長	竹 澤 栄 二	図 書 館 課 長	井 野 幸 枝	文 化 財 保 護 課 長	福 田 徹	書 記	田部井 恵美子	書 記	阿左美 裕 美	書 記	金 井 愛 実
教 育 部 長	萩 原 利 美																										
教 育 副 部 長	村 井 通 浩																										
総 務 課 長	細 井 篤																										
教 育 施 設 課 長	小野塚 博 久																										
学 校 教 育 課 長	三 村 国 宏																										
四ツ葉学園中等教育学校事務長	山 崎 芳 宣																										
健 康 教 育 課 長	戸 田 康 一																										
生 涯 学 習 課 長	竹 澤 栄 二																										
図 書 館 課 長	井 野 幸 枝																										
文 化 財 保 護 課 長	福 田 徹																										
書 記	田部井 恵美子																										
書 記	阿左美 裕 美																										
書 記	金 井 愛 実																										
開 会	<p>——— 開会宣言 ———</p> <p>委員長から開会宣言があり、全員出席の旨の発言があった。</p>																										
会議録署名委員の指名	<p>——— 会議録署名委員の指名 ———</p> <p>委員長から会議録署名委員として2番 大矢委員、4番 高橋委員、議案の説明者として教育部長、教育副部長、総務課長、教育施設課長、学校教育課長、四ツ葉学園中等教育学校事務長、健康教育課長、生涯学習課長、図書館課長、文化財保護課長の指名があった。</p>																										
前回会議録の承認	<p>——— 前回会議録の承認 ———</p> <p>7 / 19の会議録の承認を求め、承認された。</p>																										

会議録署名委員の署名

—— 会議録署名委員の署名 ——

7 / 19 の会議録の承認があり、署名をいただいた。

7 / 19 委員長、大矢委員、宮川委員署名

教育長報告

—— 教育長報告 ——

《学校教育課長》

1. 「平成28年度伊勢崎市教育研究所研究事業及び夏季研修講座について」、本市の教育課題を解決するため、教育研究所が取り組む4つの事業項目について、資料を基に報告があった。

《文化財保護課長》

2. 「埋蔵文化財展『古墳発掘！！』の開催について」、9月17日から20日までの4日間、スマークホールにおいて遺物や写真約100点の展示会等を開催する旨、資料を基に報告があった。

《徳江委員》

追加説明をします。まず、教育研究所研究事業の中の幼保小連携研修講座ですが、市内の公立幼稚園、私立幼稚園及び保育園の先生に集まっていた研修会を実施しました。今年度は、0歳児から2歳児までのお子さんを持つ保護者を対象に、就学前のあり方に関するアンケートを行いました。結果については教育委員の皆さんにも詳しく見ていただきましたが、この結果からは、実際に子育てをしている保護者の考えとのずれを感じました。就学前教育の大事さについて保護者に粘り強く伝えるために、就学前教育の果たす役割についての講演会を実施したところです。保護者の要望の中には、伊勢崎市は小学生から英語を教えているので、幼稚園でも英語を教えてもらいたいという意見や、小学校入学前までに字を読めるようにしてもらいたいという意見が多くありました。また、公立幼稚園は、教育が遅れているという指摘がありました。しかし、幼稚園から英語や字を教えても効果がないことが報告されています。字を教えることよりも、話を聞かせてあげたり本の読み聞かせをしたりして、物語の世界に子どもを誘うことが大事だと言われています。園庭での砂遊びやおもちゃ遊びを通して社会性が伸びます。はさみを使った工作をすることも、就学前教育にとって大事です。このような活動をたくさんした子どもは、小学校に入ってから伸び率が高いということが報告されています。このことを伊勢崎市のどの幼稚園、どの保育園に入っても共有できるよう、「就学前における造形教育の果たす役割と小学校の学び」という演題で講演会を開催しました。就学前には、このような体験をたくさんすることがとても大事であるということを広めたいと思っており、そのための研修会を行ったものです。

次に埋蔵文化財展ですが、一般に、このような展示会への参加者は私くらい世代の人が多くいます。しかし、会場をスマークホールに設定することで、家族連れ等幅広い世代の参加者が見込まれます。また、他の会場で行うときよりも参加者数が断然多くなります。今回の特徴ですが、国立歴史民俗資料館に展示されていたお富士山古墳の長持形石棺レプリカをそのまま持ってくるため、実際に触ったり覗いたりすることができます。この地域の古墳時代の特徴を、文化財職員が直接説明してくれますので、非常に興味深く新しい発見があると思います。教育委員の皆さんもぜひ見学に行ってください。

《宮川委員》

昨年も子どもを連れて見学に行きましたが、スタンプラリーやプレゼント等があつて、子どもは大変喜んでいました。スマークという場所で開催することは、とても良いと思います。普段は興味がない人でも、スマークに行った際に気軽に参加できると思います。私もできれば行ってみようと思います。

幼保小連携研修講座ですが、保育園を含めた研修を行うことは初めてとのことで、すばらしい取り組みだと思いました。幼稚園や保育園で、英語や字を教えてもらいたいという保護者の気持ちは良く分かります。就学前に伸ばしてあげたい子どもの力についても分かります。学ぶことの喜びを子どもが感じるようになってから学ばせないと、身に付かないと思いますし、子どもが興味を持たないと難しいですよ。

《徳江委員》

読み聞かせをたくさんしてあげると、どの子も自分で本を読みたいと思うようになり、文字に関心が出てきます。また、絵だけで文字がない絵本であれば、自分で話を作って聞かせてくれます。このような活動をたくさんしているうちに、文字に対する興味が湧いてきて、自然に文字を覚えるものです。小学校でするようなことを小さい頃から始めても効果がないことは分かっています。文字を教える、教えないということではなく、文字を使った触れ合いをたくさんすることが大事だということです。フィクションの世界で遊ぶことは大変楽しいものですが、そういうことを経験した子どもは、言葉から映像を思い浮かべたり、絵から話を作ったりします。中学生に聞いてみると、絵本の読み聞かせよりも文字だけの読み聞かせを好む傾向があります。絵があるとイメージが限定されてしまいますが、文字だけで自分の空想を膨らませる方が楽しいと考えるようです。文字という記号にとらわれず、空想したり想像したりする活動を小さい頃からたくさんさせる必要があると思っております。

英語教育についても、ビデオ教材を与えれば英語を話せるようになるわけではありません。英語を使う環境の中で友達と遊ぶことで、言語能力が養われます。市内の外国籍の子どもたちが登園している幼稚園の話を知ると、例えばポルトガル語を家でも話しているそうで、そこでは遊びながら言語を覚えています。こういうことはどんどん進めて良いと思いますが、英語の発音やABCの表記を教えても効果がないことが報告されています。

《萩原委員長》

昨日、BSフジのプライムニュースという番組で就学前教育について特集されていましたので紹介します。ペルーで、貧困家庭の3～4歳児の就学前教育を受けた子どもを40年間追跡調査したところ、6歳でIQが高く、19歳で高卒率が高く、27歳で持ち家率が高く、40歳で所得が高く逮捕率と生活保護率が低くなる結果が出たそうです。また、就学前教育の他に週1.5時間の家庭訪問を行ったところ、親の意識が大きく変わったそうです。親の積極的な関わり方が、一層の成果につながったそうです。幼児期の終わりまでに育てたいものは、健康な体と心、自立心、協同性、思考力の芽生えというものだそうです。親からの声かけや絵本もとても良いそうです。

認知的能力と非認知的能力というものも取り上げられていました。認知的能力というのは、IQや学力、記憶力のことです。非認知的能力というのは、やり抜く力や自分の気持ちをコントロールする自制心、社交性、意欲、思いやり

<p>事前質問</p>	<p>のことで。認知的能力もさることながら、非認知的能力を高めていくと、子どもが社会に出たときに必要とされる能力を持つことができるということでした。</p> <p>《宮川委員》</p> <p>伊勢崎市の幼稚園は、小学校入学前の段階で身に付けたいことを一番大事に取り組んでくれていると思います。私の子どもが小学校に元気に通っているのも、幼稚園でのびのびと色々な体験をさせていただいたおかげだと思います。たくさんの保護者に伊勢崎市の幼稚園の良いところを知って欲しいと思います。</p>
<p>議 事</p>	<p>—— 事前質問 ——</p> <p>なし</p> <p>—— 議案 ——</p> <p>議案第37号「平成28年度教育費に係る伊勢崎市一般会計歳入歳出補正予算(第1号)の見積りについて」委員長より上程があった。</p> <p>書記が議案を朗読のあと、教育部長から資料を基に説明がされた。</p> <p>《宮川委員》</p> <p>歳入補正予算の中の教育総務費寄附金ですが、どなたかが寄附をしてくれたのでしょうか。</p> <p>《総務課長》</p> <p>上泉町にお住まいの方から200万円の寄附をいただきました。</p> <p>《教育部長》</p> <p>予算要求が199万9千円なのは、当初予算が1千円あり、差額の要求になるためです。</p> <p>《宮川委員》</p> <p>すばらしいですね。感謝です。</p> <p>《徳江委員》</p> <p>92歳の方です。教育のために使ってくださいとのことで多額の寄附をいただきましたので、教育振興費の中に入れ、ふるさと学習やグローバル教育に使わせていただきたいと思いますと思っています。</p> <p>《高橋委員》</p> <p>トイレ改修事業委託料は体育館ということですが、校舎トイレ改修とは別物ですか。</p> <p>《教育部長》</p> <p>校舎のトイレ改修につきましては、今年度で小学校が全て終わり、新年度で中学校が終わります。補正予算は小学校体育館のトイレ改修設計委託になります。したがって、新年度は中学校校舎のトイレ改修と小学校体育館のトイレ改修を行う予定です。</p> <p>(そのほか質問等はなく、全員異議なく原案のとおり可決された。)</p>
<p>その他の事項</p>	<p>—— その他の事項 ——</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 次回の教育委員会の日程について <p>9月26日(月) 午後2時00分 北館4階会議室</p>

閉 会	<ul style="list-style-type: none">・伊勢崎市いじめ問題対策連絡協議会条例（案）について 5月の教育委員会会議において、9月議会で条例制定を目指す旨の報告をしたが、市長部局との調整の関係で12月議会に上程することになった旨、学校教育課長より報告があった。 <p>—— 閉会宣言 ——</p> <p>以上により閉会する旨の宣言が委員長よりあった。</p>
--------	--

伊勢崎市教育委員会会議録

平成28年9月26日

伊勢崎市教育委員会

開催年月日
開催の場所

平成28年9月26日(月)
伊勢崎市役所 北館4階会議室

◇ 会 議 日 程 ◇

- 第1 開会宣言
- 第2 会議録署名委員の指名
- 第3 前回会議録の承認
- 第4 会議録署名委員の署名
- 第5 教育長報告
- 第6 事前質問事項
- 第7 議事
- 第8 その他の事項
- 第9 閉会宣言

※出席委員

- | | |
|----|------|
| 1番 | 萩原裕子 |
| 2番 | 大矢光利 |
| 3番 | 宮川亮子 |
| 4番 | 高橋慶一 |

※欠席委員

- | | |
|----|------|
| 5番 | 徳江基行 |
|----|------|

※説明のため出席した者

- | | |
|----------------|-------|
| 教 育 部 長 | 萩原利美 |
| 教 育 副 部 長 | 村井通浩 |
| 総 務 課 長 | 細井篤 |
| 教 育 施 設 課 長 | 小野塚博久 |
| 学 校 教 育 課 長 | 三村国宏 |
| 四ツ葉学園中等教育学校事務長 | 山崎芳宣 |
| 健 康 教 育 課 長 | 戸田康一 |
| 生 涯 学 習 課 長 | 竹澤栄二 |
| 図 書 館 課 長 | 井野幸枝 |
| 文 化 財 保 護 課 長 | 福田徹 |
| 文 化 観 光 課 長 | 渡邊浩之 |

※総務課職員出席者

- | | |
|-----|---------|
| 書 記 | 田部井 恵美子 |
| 書 記 | 阿左美 裕 美 |
| 書 記 | 金 井 愛 実 |

・資料の訂正について

議案第40号 6ページ2、3行目の2行を削除

開 会

—— 開会宣言 ——

委員長から開会宣言があり、徳江委員が欠席の旨の発言があった。

会議録署名委員の指名

—— 会議録署名委員の指名 ——

委員長から会議録署名委員として2番 大矢委員、3番 宮川委員、議案の説明者として教育部長、教育副部長、総務課長、教育施設課長、学校教育課長、四ツ葉学園中等教育学校事務長、健康教育課長、生涯学習課長、図書館課長、文化財

<p>前回会議録の承認</p>	<p>保護課長、文化観光課長の指名があった。</p> <p>—— 前回会議録の承認 ——</p> <p>8 / 18 の会議録の承認を求め、承認された。</p>
<p>会議録署名委員の署名</p>	<p>—— 会議録署名委員の署名 ——</p> <p>8 / 18 の会議録の承認があり、署名をいただいた。</p> <p>8 / 18 委員長、大矢委員、高橋委員署名</p>
<p>教育長報告</p>	<p>—— 教育長報告 ——</p> <p>《教育部長》</p> <p>1. 「平成28年度第4回伊勢崎市議会定例会における一般質問に対する答弁概要について」、資料を基に報告があった。</p> <p>《総務課長》</p> <p>2. 「市立幼稚園の3年保育の実施と適正配置に関する提言案のパブリックコメント手続の結果について」、8月16日から9月15日まで実施したところ、27人から64件（要旨の数58件）の意見が提出された旨、資料を基に報告があった。</p> <p>《教育施設課長》</p> <p>3. 「平成28年度伊勢崎佐波職工組合奉仕作業報告について」、8月22日、小・中学校及び幼稚園の計31施設において、建物などの補修作業が奉仕において行われた旨、資料を基に報告があった。</p> <p>《学校教育課長》</p> <p>4. 「伊勢崎市とミズーリ州立大学との教育に係る互惠関係の協定の更新について」、平成23年10月に締結された本協定については、5年ごとに更新する規定であり、姉妹都市提携30周年訪問団としてスプリングフィールド市長及びミズーリ州立大学語学学校長が10月18日から22日まで来市する際、協定を更新する予定である旨、報告があった。</p> <p>5. 「赤堀中学校の肢体不自由児受入拠点校について」、肢体不自由の生徒が通う拠点校として、あずま中学校に加えて新たに赤堀中学校を指定する旨、報告があった。</p> <p>6. 「平成28年度伊勢崎勉強塾の実施状況について」、参加人数、活動内容及び地域行事への参加の様子等について、資料を基に報告があった。</p> <p>7. 「夏季休業中の児童生徒の活躍状況について」、小学校水泳教室記録会、中学校総合体育大会、吹奏楽コンクール及び合唱コンクール等の結果について、資料を基に報告があった。</p> <p>8. 「伊勢崎市中学生海外語学研修帰国報告会の実施状況について」、9月3日市役所東館で実施し、参加した生徒たちが14日間の研修で体験した成果を発表した旨、資料を基に報告があった。</p> <p>《四ツ葉学園中等教育学校事務長》</p> <p>9. 「四ツ葉学園中等教育学校グローバルスタディーズキャンプ及びアカデミックキャンプの実施結果について」、スタディーズキャンプでは、8月30日から9月1日までの2泊3日で、4学年が未来・世界を感じる英語研修やグローバル研修を実施し、アカデミックキャンプでは、8月31日か</p>

ら9月2日までの2泊3日で、2学年が最先端技術や本物に触れる体験活動を実施した旨、資料を基に報告があった。

10.「学校公開及び入学者選抜説明会の開催について」、10月22日、小学6年生の児童及びその保護者を対象に開催する旨、資料を基に説明があった。

《図書館課長》

11.「夏休み子ども向け事業の実施報告について」、各図書館において各種事業を実施した旨、資料を基に報告があった。

12.「初心者古文書講座について」、伊勢崎市図書館において、初めて古文書に触れる人を対象とした講座を全4回で実施する旨、資料を基に報告があった。

《文化観光課長》

13.「第4回伊勢崎市選抜作家秀作展について」、9月20日から26日までの期間、ベイシアIS伊勢崎店4階ISホールにおいて、日本画、洋画及び書道の分野で本市を中心に活躍する著名作家17人の作品を展示している旨、報告があった。

《高橋委員》

一般質問の答弁の中に、無形民俗文化財として県指定1件とありますが、どのようなものか教えてください。

《文化財保護課長》

無形民俗文化財の県指定1件は、千本木龍頭神舞です。

《宮川委員》

中学生海外語学研修は、海外に行くことで子どもたちの語学力がアップし、語学に対するモチベーションも高まるため、すばらしいと思います。研修に係る費用ですが、伊勢崎市からの援助もあると思いますが、各家庭が負担する費用について教えてください。

《総務課長》

円高円安でレートに関係がありますが、全部で約45万円かかります。伊勢崎市からグローバル人材育成奨励金として15万円出ますので、各家庭の負担は30万円くらいになります。

《大矢委員》

一般質問の答弁で、肢体不自由児特別支援学級が宮郷第二小学校に設置されているとありましたが、実際の対象者は何人くらいいるのですか。

《学校教育課長》

小学校では11人おり、そのうちの6人が宮郷第二小学校の肢体不自由児特別支援学級に在籍しております。その他の5人については、通常の学級で介助員等による支援を受けて生活しております。現在、中学校に肢体不自由児はおりませんが、6年生の児童がおり、来年度は中学入学になります。あずま中学校、赤堀中学校、またはあさひ特別支援学校もありますので、保護者と相談をしながら入学先を決定してまいります。

《大矢委員》

宮郷第二小学校には、介助員を多めに配置しているのでしょうか。

《学校教育課長》

はい、多めに配置しております。

《高橋委員》

在職中の感想になりますが、一緒に学校生活を送ることで障害児は非常に伸びる可能性があり、非常に理想的なことです。介助は本当に大変でした。介助員を配置しても、特別支援学校からみると手薄です。いい面もありますが、大変な面もあります。介助員を多めにとっても、難しい面があります。理想的なことですが大変だなという印象でした。特別支援学校は、その面では充実しています。市と保護者で相談し、子どもの成長に一番良い方向を出してもらえればありがたいと思います。

《宮川委員》

伊勢崎勉強塾は、とてもありがたいと思いました。補充学習が必要なお子さんに対する参加の声かけは行っているのでしょうか。

《学校教育課長》

補充学習が必要と思われたり、夏休みの宿題が心配だったりする児童生徒に対しては、学校側から参加を呼びかける声かけをしております。また、中学校では特色ある講演会や活動を行い、教員の思いや意図がある勉強塾になっております。

《萩原委員長》

古文書講座ですが、古文書の解説はとても難しいと聞いておりますので、この講座はすばらしいと思います。伊勢崎市ではたくさんの遺跡が発掘されており、古文書を解説する上では重要な位置を占めると思います。市民の方々が、古文書を学ぶことで遺跡等に興味を持ち、ゆくゆくは伊勢崎市の力になってくれることを期待しております。がんばってください。

《図書館長》

ありがとうございます。

《宮川委員》

図書館の夏休み子ども向け事業について、読書感想文の書き方講座に子どもと一緒に参加しました。話がとても分かりやすく楽しい先生で、大人でも楽しめる内容でした。

事前質問

—— 事前質問 ——
なし

議 事

—— 議案 ——

議案第38号「市立幼稚園の3年保育の実施と適正配置に関する提言について」委員長より上程があった。

書記が議案を朗読のあと、総務課長から資料を基に説明がされた。

《宮川委員》

3年保育の実施については、私が伊勢崎市立幼稚園PTA連絡協議会会長をしていた時も、それ以前からも、長い間要望されてきたことでしたので、保護者の皆さんにとって喜ばしいことだと思います。パブリックコメントで様々な意見がありますが、第一幼稚園、名和幼稚園、あかぼり幼稚園の3園は、検討を重ねた上での決定だと思いますので、良かったと思います。年少のお子さんの預け先として、選択肢が増えたことも良いことだと思います。3年保育を実施するにあたり、幼稚園の設備や教職員の研修等、子どもたち

を迎える準備もたくさんしていただいているようですので、安心して市立幼稚園に預けることができると思います。

《高橋委員》

職員数は増になりますか。

《学校教育課長》

はい、増員になります。3歳児ですので、支援員も含めて適正な職員体制を整えていきたいと考えております。

《高橋委員》

よろしくお願いします。

《萩原委員長》

保護者アンケートも全部読みましたが、3年保育にすることは、他市他県と足並みをそろえる意味でも良いことだと思います。今後も保護者のニーズに応えられるところは応えていき、皆さんに支持される魅力ある幼稚園づくりを目指していくことが大切だと思います。

《宮川委員》

適正配置の検討、実施について、お母さんたちの間ではどこの幼稚園がなくなる等のうわさ話があるのですが、はっきりしたことがあれば教えてください。

《総務課長》

就学前教育・保育のあり方に関する基本方針検討委員会の中では、具体的な園の名前は上がっておりません。集団生活を通して自主性や社会性を育むために、園児数は一つの目安になると思います。統廃合については、これから先の検討になります。今回の提言が議決になりましたら、これを基本方針として、教育委員会の中で教育委員さんも含めて検討をすることになると思います。

(そのほか質問等はなく、全員異議なく原案のとおり可決された。)

議案第39号「平成29年度伊勢崎市幼稚園の定員について」委員長より上程があった。

書記が議案の朗読のあと、学校教育課長から資料を基に説明がされた。

《萩原委員長》

ある程度園児が集まっている園が、3年保育のモデル園に選ばれたと思っております。これを見るとあずま幼稚園の定員が一番多いのですが、どういう基準で3年保育を先行実施する園を選んだのでしょうか。

《学校教育課長》

選考基準については、就学前教育・保育のあり方に関する基本方針検討委員会になりますが、60人、80人、140人、180人というのは来年度の定員です。幼稚園の定員数は840人を超えてはいけないというしほりがあり、今回は、モデル園になった3園の中だけで定員数を調整しました。合計定員は840人ですが、実際に通園する園児数は422人です。

《萩原委員長》

人数の多いところで3年保育を実施するわけではないのですね。

《総務課長》

地域バランスを考えました。

<p>その他の事項</p> <p>閉 会</p>	<p>《大矢委員》</p> <p>全体としてのバランスは良いと思います。パブリックコメントの意見の中に、園児数が極端に少ない園が複数あるとありますが、しばらくこの状態が続いているのでしょうか。</p> <p>《総務課長》</p> <p>極端に少ない園は、豊受幼稚園、茂呂幼稚園の2園です。この2園については、少ない状態が続いております。</p> <p>(そのほか質問等はなく、全員異議なく原案のとおり可決された。)</p> <p>議案第40号「伊勢崎市立幼稚園管理規則の一部を改正する規則案について」委員長より上程があった。</p> <p>書記が議案の朗読のあと、学校教育課長から資料を基に説明がされた。</p> <p>(質問等はなく、全員異議なく原案のとおり可決された。)</p> <p>———— その他の事項 ————</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 次回の教育委員会の日程について <p>10月14日(金) 午後3時00分 あずま小学校</p> <p>———— 閉会宣言 ————</p> <p>以上により閉会する旨の宣言が委員長よりあった。</p>
--------------------------	--

伊勢崎市教育委員会会議録

平成28年10月14日

伊勢崎市教育委員会

開催年月日 開催の場所	<p>平成28年10月14日（金） あずま小学校</p> <p>◇ 会 議 日 程 ◇</p> <p>第1 開会宣言 第2 会議録署名委員の指名 第3 前回会議録の承認 第4 会議録署名委員の署名 第5 教育長報告 第6 事前質問事項 第7 議事 第8 その他の事項 第9 閉会宣言</p> <p>※出席委員</p> <p>1番 萩原裕子 2番 大矢光利 3番 宮川亮子 4番 高橋慶一 5番 徳江基行</p> <p>※説明のため出席した者</p> <table border="0"> <tr><td>教 育 部 長</td><td>萩 原 利 美</td></tr> <tr><td>教 育 副 部 長</td><td>村 井 通 浩</td></tr> <tr><td>総 務 課 長</td><td>細 井 篤</td></tr> <tr><td>教 育 施 設 課 長</td><td>小野塚 博 久</td></tr> <tr><td>学 校 教 育 課 長</td><td>三 村 国 宏</td></tr> <tr><td>四ツ葉学園中等教育学校事務長</td><td>山 崎 芳 宣</td></tr> <tr><td>健 康 教 育 課 長</td><td>戸 田 康 一</td></tr> <tr><td>生 涯 学 習 課 長</td><td>竹 澤 栄 二</td></tr> <tr><td>図 書 館 課 長</td><td>井 野 幸 枝</td></tr> <tr><td>文 化 財 保 護 課 長</td><td>福 田 徹</td></tr> </table> <p>※総務課職員出席者</p> <table border="0"> <tr><td>書 記</td><td>田部井 恵美子</td></tr> <tr><td>書 記</td><td>阿左美 裕 美</td></tr> <tr><td>書 記</td><td>金 井 愛 実</td></tr> </table>	教 育 部 長	萩 原 利 美	教 育 副 部 長	村 井 通 浩	総 務 課 長	細 井 篤	教 育 施 設 課 長	小野塚 博 久	学 校 教 育 課 長	三 村 国 宏	四ツ葉学園中等教育学校事務長	山 崎 芳 宣	健 康 教 育 課 長	戸 田 康 一	生 涯 学 習 課 長	竹 澤 栄 二	図 書 館 課 長	井 野 幸 枝	文 化 財 保 護 課 長	福 田 徹	書 記	田部井 恵美子	書 記	阿左美 裕 美	書 記	金 井 愛 実
教 育 部 長	萩 原 利 美																										
教 育 副 部 長	村 井 通 浩																										
総 務 課 長	細 井 篤																										
教 育 施 設 課 長	小野塚 博 久																										
学 校 教 育 課 長	三 村 国 宏																										
四ツ葉学園中等教育学校事務長	山 崎 芳 宣																										
健 康 教 育 課 長	戸 田 康 一																										
生 涯 学 習 課 長	竹 澤 栄 二																										
図 書 館 課 長	井 野 幸 枝																										
文 化 財 保 護 課 長	福 田 徹																										
書 記	田部井 恵美子																										
書 記	阿左美 裕 美																										
書 記	金 井 愛 実																										
開 会	<p>——— 開会宣言 ———</p> <p>委員長から開会宣言があり、全員出席の旨の発言があった。</p>																										
会議録署名委員の指名	<p>——— 会議録署名委員の指名 ———</p> <p>委員長から会議録署名委員として3番 宮川委員、4番 高橋委員、議案の説明者として教育部長、教育副部長、総務課長、教育施設課長、学校教育課長、四ツ葉学園中等教育学校事務長、健康教育課長、生涯学習課長、図書館課長、文化財保護課長の指名があった。</p>																										
前回会議録の承認	<p>——— 前回会議録の承認 ———</p> <p>9 / 26 の会議録の承認を求め、承認された。</p>																										

会議録署名委員の署名

—— 会議録署名委員の署名 ——

9 / 26 の会議録の承認があり、署名をいただいた。

9 / 26 委員長、大矢委員、宮川委員署名

教育長報告

—— 教育長報告 ——

《教育施設課長》

1. 「小学校トイレ改修事業報告【第1工区の完成】について」、小学校8校の第1工区工事が完了し、本年度で全ての小学校のトイレ改修工事が完了する予定である旨、資料を基に報告があった。

《学校教育課長》

2. 「平成28年度2学期学力向上・生徒指導等の改善・充実について」、要請訪問では、全ての小中学校を訪問し指導及び援助に当たり、研究指定校の授業公開では、茂呂小学校と名和小学校の研究発表が行われる旨、資料を基に報告があった。

《徳江委員》

本日は、教育委員の皆さんにあずま小学校の見学をしていただきました。伊勢崎市は、平成24年度から小中一貫英語教育を進めています。研究指定校の授業公開もありますが、伊勢崎市が全国や県に先駆けて英語教育に取り組んでいるところをご覧になっていただきました。後ほど意見をいただければありがたいと思います。

《生涯学習課長》

3. 「平成28年度伊勢崎市地区別人権学習会の開催について」、南、茂呂、豊受、赤堀及び境地区の5地区において人権問題について考える学習会を開催する旨、資料を基に報告があった。

《図書館課長》

4. 「秋の読書週間について」、読書に関する新たな取り組みとして、読書通帳、本のお楽しみ袋（大人向け）及び世界の絵本ポスター展を実施する旨、資料を基に報告があった。

5. 「他部署との連携について」、部を越えた連携により、行政と市民をつなぐ情報提供施設として活動していく旨、資料を基に報告があった。

《文化財保護課長》

6. 「田島弥平旧宅『秋の特別公開』と『菊花展』について」、11月13日に田島弥平旧宅の特別公開等を実施し、また、11月2日から11月20日まで桑場下屋において伊勢崎菊花同友会の協力により菊の展示を行う旨、資料を基に報告があった。

《宮川委員》

田島弥平旧宅「秋の特別公開」と「菊花展」については、小さいお子さんから大人まで楽しめる様々なイベントを試行錯誤して考えてくださっていて、皆さんが楽しめるものだと思います。

《萩原委員長》

「秋の特別公開」と「菊花展」は、たくさんの方々の協力をいただいて成り立つイベントだと思いますので、感激しました。織の会やみちくさ塾、伊勢崎興陽高校、伊勢崎菊花同友会の方々など、みなさんのご協力でこんなに大きな

イベントができることはすばらしいと思いました。

《大矢委員》

1月13日には境産業祭があります。産業祭の会場で案内したり、相互のイベントが交流したりするような仕組みができるのもっと楽しいのではないかと感じました。

《萩原委員長》

つながっていくと、もっとすばらしくなりますね。

《文化財保護課長》

色々な催しと連携したいと考えております。今後、機会があれば相談して企画したいと思います。なお、境産業祭には、田島弥平旧宅の説明を委託している蚕種の会が参加します。また、渡船フェスタには、文化財保護課と蚕種の会が参加しております。今回の秋の特別公開でも、蚕種の会が数名応援してくれることになっております。

《高橋委員》

学力向上関係ですが、本日の授業は非常に良かったと感じました。英語は楽しいという部分と文字に落として定着させていた部分が、中学校につながっていくと思います。また、体育祭関係になりますが、あずま中学校の体育祭を見学したところ非常に落ち着いており、こういうところが最終的に学力向上につながっていくと思います。

地区別人権学習会についてですが、すでに南公民館が終わりましたが、どのくらいの人数が集まりましたか。

《生涯学習課長》

40名程度でした。

《大矢委員》

英語の授業は、リズムボックスを使って楽しく進めていたと思います。平成24年度から一貫して取り組んでいるとのことで、すばらしいと思いました。今の子どもたちにとっては必須の科目なので、ぜひ伸ばしてあげてください。

《萩原委員長》

授業の様子から、子どもたちがとても元気で、みんなきちんと声を出して参加していて、すばらしいと思いました。楽しそうに授業を受けていましたので、子どもたちは英語が好きになってくれるのではないかと思います。

《高橋委員》

図書館課の他部署との連携は、とても良いことだと思います。本を読むことは心の糧になりますので、より進めていって欲しいと思います。

《宮川委員》

読書通帳ですが、資料の写真をみると感想を書く欄がありません。感想は書かないのですか。

《図書館課長》

感想を書かせると、子どもが嫌になってしまうことがあります。続けてもらうことを目標にしていますので、あまり感想を強要しないよう考えております。空いているスペースがありますので、そこに感想を書いてもらうことはできると思います。

《宮川委員》

学校図書室からは、借りた本と一緒に感想を書く用紙を持ち帰ってきます。

学校だと感想も書かせるようですが、図書館はまず読んでもらうのですね。

《萩原委員長》

読書通帳は、図書館で借りた本だけではなく、自分で読んだ本も記入できる
ところが良いですね。他部署との連携もすばらしいと思いました。初めての取
り組みは大変でしょうけれども、図書館に来る人だけではなく、市民に対して
開かれており、良い啓発活動だと思いました。今後がんばってください。

《高橋委員》

学校のトイレは、どこも大変きれいにしてあると思います。学校から清掃に
ついての意見は上がってきていますか。例えばおもらしをしてしまった場面では、
どのように処理をしているのでしょうか。

《教育施設課長》

おもらしについては聞いていないのですが、雑巾を色分けして、色別に決ま
った場所を拭くようにしています。子どもたちは一生懸命掃除しており、意識
付けができています。

《高橋委員》

きれいだと掃除をする気になりますし、きれいに使おうと思いますね。

《徳江委員》

トイレピカピカプロジェクトということで、施設整備と同時に施設をきれい
に維持することを学校教育の中で取り組んでおります。床を拭く雑巾で便座を
拭かないよう、使う雑巾を場所別に色分けして掃除をしています。この取り組
みは、外部のトイレに関心がある方に注目されてインターネットで紹介されま
した。

《萩原委員長》

心がきれいになりますよね。

《宮川委員》

学力向上・生徒指導等の改善・充実のところの2番目は、事業公開ですか、
それとも授業公開ですか。時間等を含め、もう少し詳しく教えてください。

《学校教育課長》

午後1時55分からです。群馬県の指定を受けて各市町村に1校、学力向上
の柱となる学校を作って、それを広めていこうとするものです。茂呂小学校で
は考える力や表現力を中心に、茂呂小の授業スタイルを使って、活用する能力
に重点を置いて取り組んでおります。茂呂小学校は、全国学力・学習状況調査
のB問題の数値が高いという成果が上がっております。上手くいっているところ
を見ていただきたいと考えております。

《徳江委員》

事業公開ですか、授業公開ですか。

《学校教育課長》

授業公開です。訂正をお願いいたします。

《徳江委員》

11月16日の授業公開は午後2時からです。

事前質問

—— 事前質問 ——
なし

議

事

—— 議案 ——

議案第41号「平成28年度末教職員人事運営方針について」委員長より上程があった。

書記が議案を朗読のあと、学校教育課長から資料を基に説明がされた。

《徳江委員》

転任と転補について、追加説明をします。転任というのは、市町村間を異動することです。転補というのは、市内の学校間を異動することです。

《高橋委員》

再任用は、退職時と同じ学校に勤務できるのでしょうか。

《学校教育課長》

この制度が始まったときには同じ学校が優先されましたが、現在は一般人事と同じ扱いをしており、特別に同じ学校ということは考えておりません。

《高橋委員》

本人の希望はどうですか。

《学校教育課長》

一般人事と同じです。

《宮川委員》

人事というと、とても難しい作業ではないかと思えます。先生方の異動によって学校が活性化されることは、子どもたちにとっても良いことだと思います。先生方の異動では部活動も考慮すると思えますが、先生方に部活動指導の負担がのしかかっていることが問題視されております。地域の人や外部の人を招いて指導してもらっている話も耳にしますが、伊勢崎市としてはどう考えているのでしょうか。

《学校教育課長》

部活動によって勤務に負担がかかることは、日本全体の問題であり、国では改善の検討を進めているところです。昨年度末には、県校長会から部活動の適正化ということで、土日のどちらかを休みにすることや、長時間に及ぶ練習は自粛するようという指針も出ております。地域の方々の活用としては、伊勢崎市では外部講師およそ40名が各中学校に配置されており、指導を助けています。教育長からも夏休み1週間の学校閉庁や勤務のあり方の見直し等の指導をいただいておりますので、しっかり検討していきたいと考えております。

《徳江委員》

総論として、教員の過重勤務については色々な方面で理解していただき、県教育委員会でも今年度から教員の勤務軽減に向けての検討を始めました。11月の県市町村教育長会議でその原案を提示してくれる方向で進んでいます。市教育委員会でも、教員の勤務を軽減するために、夏休みの1週間学校を閉庁することや、教員の事務軽減のための校務支援システムを導入しました。しかし、個別の部活動の問題になったとき、総論として教員の過重勤務は理解しても、この部活を廃止しては困るという意見、もっと強くなるために練習をして欲しいという意見、小学校までこういうスポーツをしていたので中学校に新しくその部活を作って欲しいという要望などが保護者から寄せられます。色々な団体との連携の中で部活動が行われてきたこれまでの

経緯もありますので、時間をかけて一つ一つ解決し、教員の適正勤務を図りたいと考えております。

さらに、新しい時代の教育として、子どもたちが主体的に学び、日本が抱えている国家的な課題に自ら挑戦し、解決の主役となる子どもを育てていくことが大事であります。保護者の皆さんや地域の皆さんと合意形成を図りながら、教員の勤務の軽減を図っていきたいと考えております。

《大矢委員》

部活動に定休日を設ける意見は出ていますか。

《徳江委員》

出ています。

《大矢委員》

教員だけではなく、子どもにとっても過剰な運動は負担だと思います。

《徳江委員》

教員もさることながら、発達段階にある子どもに過重な負担をさせることは、教育的にマイナスの作用が出るのが十分考えられますし、実際に起こっていると思います。世の中は2020年の東京オリンピックに向けて高揚していますが、青少年の健全育成のためには適切な量の部活動を実践していくことが大事だと思っております。部活動の運営方針については、これまでも校長会での申し合わせ事項がありましたが、それがなかなか守られないのは、必ずしも保護者が同じ意見ではないということだと思われま

《高橋委員》

親の立場も様々で、もっと強くして欲しいという保護者もいれば、そうでもない保護者もあり、顧問は大変だろうと思います。日本社会は競技スポーツと健康リクリエーションスポーツが完全に分かれています。そして、中学校の部活動は底辺的な位置にあり、そこに丸々任せているところに問題があると思います。社会が変わって、例えば会社の方が指導できるようになれば、学校の負担が軽減できると思います。40名いる外部講師は、自分の仕事をしながら学校で指導もしてくれています。学校としても、部活動が強いと地域がすぐに認めてくれますが、先生方や顧問は大変だろうと思います。

《大矢委員》

自分で運動をしていた頃は、部活動を休むことは考えもしませんでした。先ほどの英語教育のように自分たちが育った頃とは変わってきています。例えば今までやってきた競技以外の競技に目覚めて、そこで芽が出てくることもありますし、空いた時間で別の競技をしたらそれが良かったというようなケースがあるかもしれません。柔軟に考えていく必要を感じるようになりました。

《徳江委員》

中学校の体育の教員に最近の子どもたちの運動に関する状況について聞くと、同じ体育の中でも好き嫌いがはっきりしているそうです。様々な運動をまんべんなくすることが学校体育では大事であり、実践しているわけですが、入学してきた段階から、同じ子どもでも種目によって得意不得意がはっきりしているそうです。中学校の体育の教員からは、それを崩すのがとても大変だという意見を聞いております。

《高橋委員》

<p>その他の事項</p> <p>閉 会</p>	<p>昔は運動ができる子はなんでもできたものですが、今はそうではないので すね。</p> <p>《萩原委員長》 外部講師が約40名ということですが、謝礼は市から出ているのですか。</p> <p>《学校教育課長》 500円から600円程度のボランティアです。地域の方が学校を応援し たいということで協力してくれています。</p> <p>《萩原委員長》 各学校で外部講師を決めて良いのですか。</p> <p>《学校教育課長》 各学校から教育委員会に推薦が来ます。その推薦者についてこちらで認 め、40名程度になるように絞り込み、各学校均等になるように配置してお ります。 (そのほか質問等はなく、全員異議なく原案のとおり可決された。)</p> <p>———— その他の事項 ————</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 次回の教育委員会の日程について 11月17日(木) 午後3時00分 四ツ葉学園中等教育学校 <p>———— 閉会宣言 ————</p> <p>以上により閉会する旨の宣言が委員長よりあった。</p>
--------------------------	--

伊勢崎市教育委員会会議録

平成28年11月17日

伊勢崎市教育委員会

開催年月日
開催の場所

平成28年11月17日(木)

四ツ葉学園中等教育学校

◇ 会 議 日 程 ◇

- 第1 開会宣言
- 第2 会議録署名委員の指名
- 第3 前回会議録の承認
- 第4 会議録署名委員の署名
- 第5 教育長報告
- 第6 事前質問事項
- 第7 議事
- 第8 その他の事項
- 第9 閉会宣言

※出席委員

- | | |
|----|------|
| 1番 | 萩原裕子 |
| 3番 | 宮川亮子 |
| 4番 | 高橋慶一 |
| 5番 | 徳江基行 |

※欠席委員

- | | |
|----|------|
| 2番 | 大矢光利 |
|----|------|

※説明のため出席した者

- | | |
|----------------|---------|
| 教 育 部 長 | 萩 原 利 美 |
| 総 務 課 長 | 細 井 篤 |
| 教 育 施 設 課 長 | 小野塚 博 久 |
| 学 校 教 育 課 長 | 三 村 国 宏 |
| 四ツ葉学園中等教育学校事務長 | 山 崎 芳 宣 |
| 健 康 教 育 課 長 | 戸 田 康 一 |
| 生 涯 学 習 課 長 | 竹 澤 栄 二 |
| 図 書 館 課 長 | 井 野 幸 枝 |
| 文 化 財 保 護 課 長 | 福 田 徹 |

※総務課職員出席者

- | | |
|-----|---------|
| 書 記 | 田部井 恵美子 |
| 書 記 | 阿左美 裕 美 |
| 書 記 | 金 井 愛 実 |

・資料の訂正について

議案1ページ上から5行目、「議決を求める」を「同意を求める」に訂正

開 会

—— 開会宣言 ——

委員長から開会宣言があり、大矢委員が欠席の旨の発言があった。

会議録署名委員の指名

—— 会議録署名委員の指名 ——

委員長から会議録署名委員として4番 高橋委員、5番 徳江委員、議案の説明者として教育部長、総務課長、教育施設課長、学校教育課長、四ツ葉学園中等教育学校事務長、健康教育課長、生涯学習課長、図書館課長、文化財保護課長の指名があった。

<p>前回会議録の承認</p>	<p>—— 前回会議録の承認 ——</p> <p>10 / 14 の会議録の承認を求め、承認された。</p>
<p>会議録署名委員の署名</p>	<p>—— 会議録署名委員の署名 ——</p> <p>10 / 14 の会議録の承認があり、署名をいただいた。</p> <p>10 / 14 委員長、宮川委員、高橋委員署名</p>
<p>教育長報告</p>	<p>—— 教育長報告 ——</p> <p>《学校教育課長》</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「北小学校特認校制の申込結果について」、新1年生33人の申し込みがあった旨、資料を基に報告があった。 2. 「市立幼稚園の申込結果について」、3歳児55人、4歳児137人、5歳児5人、合計197人の新規入園児が決定した旨、資料を基に報告があった。 3. 「群馬県小学校陸上教室記録会の結果について」、資料を基に報告があった。 4. 「群馬県中学校新人大会の結果について」、資料を基に報告があった。 <p>《文化財保護課長》</p> <ol style="list-style-type: none"> 5. 「史跡上野国佐位郡正倉跡公有地化について」、売却要望があった民有地168.32㎡を買収し公有地化した旨、資料を基に報告があった。 6. 「国指定史跡女堀発掘調査説明会について」、11月27日、発掘調査の成果説明会を開催する旨、資料を基に報告があった。 <p>《総務課長》</p> <ol style="list-style-type: none"> 7. 「境島小学校統合に関する転入児童等の感想について」、転入児童、転入児童の保護者、境島小学校から境小学校に赴任した教諭及び境島村地域の代表の感想について、資料を基に報告があった。 <p>《高橋委員》</p> <p>通学バスについてですが、座れずに立っている子どもがいるのですか。</p> <p>《総務課長》</p> <p>朝は2便出ています。1便目は中学生の部活動朝練用です。2便目は中学生と小学生が一緒になるため、後から乗ってくる子どもについては座れずに立っていることがあるとのこと。</p> <p>《高橋委員》</p> <p>今後、改善をしていくのでしょうか。</p> <p>《総務課長》</p> <p>改善できるところはしていきたいと思います。</p> <p>《宮川委員》</p> <p>夏休み中のプールの利用時間が学年で違うため、帰りのバスまでの待ち時間が長いとありますが、この点についてはどうお考えですか。</p> <p>《総務課長》</p> <p>夏休み中については、バスの便数が普段の3便から1～2便になるため、待ち時間が出てしまいました。島村の子どもは学年で分けずに一緒の時間帯にできないかという要望が出ましたが、学年が違っていると一緒に遊ぶ子どもがいないというデメリットがあります。バスの運行時間を配慮する必要があると感じています。</p> <p>《萩原委員長》</p>

これから配慮していただけるということでしょうか。

《総務課長》

教育委員会の調査だけでなく、学校とも協議して調整方法を考えたいと思います。

《高橋委員》

女堀は花しょうぶ園になっていますが、復元はするのでしょうか。

《文化財保護課長》

女堀ですが、現在は本来の遺構は埋まっている状態であり、復元することはありません。今後は、盛土の山が崩れている部分の補修や来訪者のための歩道、水路の整備等について、調査整備委員会で取り組んでいく予定です。

《宮川委員》

女堀については今回が見納めとのことですが、詳しく教えてください。

《文化財保護課長》

女堀が昭和58年に国指定史跡になったときは、発掘調査をしないで指定になりました。当時、隣接する前橋地区は発掘調査をしましたが、伊勢崎地区では遺構の状態がよく見えておりましたので、発掘調査をしませんでした。平成23年から、詳細なデータをつかむために毎年発掘調査をしており、今回は6年目で最終年となります。史跡については、めったに掘ることができません。今回も史跡の現状を変えるということで、文化庁に現状変更の許可を取って発掘調査を実施しております。今後は、調査整備委員会において整備基本計画を作り、歩道の整備や水路の手直し、遺構を守るための保護層を設ける等の整備を進めていきます。今後、よほどのことがない限り掘ることはありませんので、発掘の現状を見ることができるのは、今回が最後になると思います。

《萩原委員長》

ただ見てもよく分かりませんが、解説付きということで貴重な説明会になるわけですね。

《文化財保護課長》

盛土の断面からは、掘った土を盛った順序を見ることができます。女堀が約800年前に掘られたことが分かった理由は、浅間山が噴火したときの灰が盛土に混ざっていたからです。女堀は1108年の浅間山噴火の後に掘り始めたということです。最近では、12世紀中頃に掘られたと考えられています。発掘をして、女堀には水が流れた形跡が一つもないことが分かりました。つまり、途中で工事を止めたということです。なぞの遺跡と言えます。現地を見るだけでは分かりませんので、係員が解説をする説明会にぜひお出かけください。

《萩原委員長》

多くみなさんに行っていただきたいですね。

《徳江委員》

女堀はとても人気があります。赤堀公民館で女堀の説明会を開催したところ、会場に座りきれないほどの人が集まりました。市内だけでなく、前橋市や太田市からも集まりました。

《文化財保護課長》

女堀は、研究者以外でも調べている人が多く、とても人気があります。なぞの遺跡であり、女性が一夜で掘ったという言い伝えも残っていることから、一般の方も興味を持つのではないかと考えております。

《宮川委員》

市立幼稚園の申込結果についてですが、長い間3年保育の要望があったとはいえ、実際にお子さんが集まるか不安がありました。たくさんのお子さんが集まってよかったと思います。

《萩原委員長》

あかぼり幼稚園の3歳児は26人の応募があり、20人が決定したということですが、これは抽選ですか。

《学校教育課長》

はい、抽選です。

《徳江委員》

平成30年度から3年保育を開始する予定でしたが、いいことはできるだけ早く、また平成30年度から一斉に3年保育を開始することは、施設整備や保育の質の確保の面からリスクが大きいため、試行的に前倒しをして実施することにしました。抽選の結果、希望したのに入れなかった人には大変申し訳ないと思っております。この結果をよく考慮し、平成30年度はさらに検討を加えて、よりよい3年保育の実施をしたいと考えております。

《宮川委員》

境島小学校の子どもたちの感想ですが、「人数が多いので楽しい」「友達が多くできた」「困ったときは助けてくれる」といったプラス面の感想が多く、のびのびと新しい学校で過ごせているのだと思いました。

《徳江委員》

議会では、小さい学校の切り落としではないかという質問もありましたが、教育的効果を考えて、伊勢崎市に住むどの子どもたちも、その時期にしか学べないものを学ぶという観点から、教育委員会会議や学校規模の適正化検討委員会で協議していただき、境島小学校統合の結果を出しました。統合から半年が経ち、子どもたちや保護者からよかったという意見をいただいたことは、大変うれしく思っております。改善すべき点も指摘されておりますので、今後しっかり耳を傾け、充実を図っていきたいと考えております。

《萩原委員長》

横浜市で、福島県からの転入生のいじめ問題がありました。境島小学校からの転入生はうまくいっていると思いますが、今回調べたからよいというわけではなく、今後も引き続き注意深く子どもたちの様子をフォローしていくことが大切だと思いますので、よろしくお願いします。

《徳江委員》

子どもには、変化を求める気持ちがあります。境小学校に境島小学校の子どもたちが転入しましたが、子どもにとって転校生はうれしい存在です。統合前の境小学校には、境島小学校から来る子どもたちをどのように迎えたらいいかという指導をお願いしました。境島小学校の子どもたちは、大きな学校に行ったらみんなとサッカーやドッジボールをすることを楽しみにしており、子どもたちが夢を持って統合できるような指導を心がけてもらいました。受け入れる側にも、新しい友達が入ってくることで仲間が増えるのだという指導をお願いしました。すべてがうまくいっているわけではありませんが、よい評価をもらえていると思っております。

島村地区の方々は、学校がなくなるという感情的に受け入れがたいものがあ

<p>事前質問</p>	<p>ったことと思います。困難に対して、子ども同士で助け合い乗り越えていくことは教育的に大事なことだと思いますので、子どもたちにはよく話をし、困難を乗り越えてくれるようにしていきたいと考えております。</p>
<p>議 事</p>	<p>—— 事前質問 —— なし</p> <p>—— 議案 ——</p> <p>議案第42号「平成28年度教育費に係る伊勢崎市一般会計歳入歳出補正予算(第2号)の見積りについて」委員長より上程があった。 書記が議案を朗読のあと、教育部長から資料を基に説明がされた。</p> <p>《高橋委員》 トイレ改修事業について教えてください。 《教育部長》 平成29年度に中学校トイレ改修事業を行う予定でしたが、国の経済対策補正予算の成立に伴い、県から平成29年度事業で前倒しができるものがあれば上げてくれという調査があり、12月補正で要求をするものです。今年度中に契約し、全額翌年度へ繰り越し、工事の実施は翌年度になります。</p> <p>《徳江委員》 本来ならば約10億6千万円かかるところを、国が3分の1補助をしてくれることになりましたので、伊勢崎市の持ち出し金は約7億3千万円になりました。今まで計画をしていたので、県から調査がきた際にすぐ出せたわけですが、もしも計画がなければ出せませんでした。</p> <p>《萩原委員長》 中学校には校庭の排水がよくないところがありますが、計画を上げておけばもらえることがあるということでしょうか。 《教育施設課長》 トイレ改修もさることながら、学校には老朽化しているところが多くあり、危険箇所を最優先して対応していきたいと考えております。校庭の整備についても、計画に基づいて順次進めていきたいと思っております。</p> <p>《徳江委員》 伊勢崎市の学校施設では、平成29年度で耐震、エアコン、トイレ改修といった大規模な工事が終わります。学校給食センターについても目処が付きまします。今抱えている最大の問題は、建物の長寿命化になりますが、建物だけではなく、校庭の水はけ等にも非常に金額がかかります。一斉にはできませんので、整備計画にのっとり順次改修していく予定です。</p> <p>《宮川委員》 トイレはどの学校も大変きれいなので、よかったと思っています。校舎の壁や床については、だいぶ痛んでいると思うことがありますので、少しずつ改修されていけばよいなと思いました。 (そのほか質問等はなく、全員異議なく原案のとおり可決された。)</p> <p>議案第43号「伊勢崎市いじめ問題対策連絡協議会等条例案に係る臨時代理の承認について」委員長より上程があった。</p>

書記が議案の朗読のあと、学校教育課長から資料を基に説明がされた。

《高橋委員》

総合教育会議でも確認しましたし、市長の再調査委員会がこれだけしっかりしていれば大丈夫だと思います。

(そのほか質問等はなく、全員異議なく原案のとおり可決された。)

議案第44号「新学校給食調理場の平面プランと食器について」委員長より上程があった。

書記が議案の朗読のあと、健康教育課長から資料及び食器見本を基に説明がされた。

《高橋委員》

平面図は非常によいと思います。群馬県は北風がとても強いので、扉をきちんと閉めても北側からは砂が入ってきてしまいます。南側に配膳をもってきていけば砂が入ってくることはなく、管理しやすいと思いました。

《宮川委員》

前回見せてもらった平面図には、いざというときのためにアレルギー対応ができる部屋が端にありましたが、その部屋は普段どのように活用するつもりなのでしょう。

《健康教育課長》

基本設計では、全ての可能性を考えてアレルギー対応室を作ることになりましたが、最終的に、学校現場、保護者、調理場の3者が全ての情報を正確に共有し、アレルギーによる事故を起こさないシステムが整わない段階では、アレルギー対応は実施しないことに決まりました。今後、条件が整ってリスクがなくなったときのために、除去食を提供するためのスペースは確保しておきますが、現段階では、保管庫として活用したいと考えております。

(そのほか質問等はなく、全員異議なく原案のとおり可決された。)

その他の事項

——— その他の事項 ———

・ 次回の教育委員会の日程について

12月19日(月) 午後2時00分 北館4階会議室

閉 会

——— 閉会宣言 ———

以上により閉会する旨の宣言が委員長よりあった。

伊勢崎市教育委員会会議録

平成28年12月19日

伊勢崎市教育委員会

<p>開催年月日 開催の場所</p>	<p>平成28年12月19日(月) 伊勢崎市役所 北館4階会議室 ◇ 会 議 日 程 ◇ 第1 開会宣言 第2 会議録署名委員の指名 第3 前回会議録の承認 第4 会議録署名委員の署名 第5 教育長報告 第6 その他の事項 第7 閉会宣言 ※出席委員 1番 萩原裕子 2番 大矢光利 3番 宮川亮子 4番 高橋慶一 5番 徳江基行 ※説明のため出席した者 教 育 部 長 萩原利美 教 育 副 部 長 村井通浩 総 務 課 長 細井篤 教 育 施 設 課 長 小野塚博久 学 校 教 育 課 長 三村国宏 四ツ葉学園中等教育学校事務長 山崎芳宣 健 康 教 育 課 長 戸田康一 生 涯 学 習 課 長 竹澤栄二 図 書 館 課 長 井野幸枝 文 化 財 保 護 課 長 福田徹 ※総務課職員出席者 書 記 田部井 恵美子 書 記 阿左美 裕美 書 記 金井 愛実</p>
<p>開 会</p>	<p>———— 開会宣言 ———— 委員長から開会宣言があり、全員出席の旨の発言があった。</p>
<p>会議録署名委員の指名</p>	<p>———— 会議録署名委員の指名 ———— 委員長から会議録署名委員として5番 徳江委員、2番 大矢委員、議案の説明者として教育部長、教育副部長、総務課長、教育施設課長、学校教育課長、四ツ葉学園中等教育学校事務長、健康教育課長、生涯学習課長、図書館課長、文化財保護課長の指名があった。</p>
<p>前回会議録の承認</p>	<p>———— 前回会議録の承認 ———— 11/17の会議録の承認を求め、承認された。</p>

会議録署名委員の署名

——— 会議録署名委員の署名 ———

11 / 17 の会議録の承認があり、署名をいただいた。

11 / 17 委員長、高橋委員、徳江委員署名

教育長報告

——— 教育長報告 ———

《教育部長》

1. 「平成28年第5回伊勢崎市議会定例会における一般質問に対する答弁概要について」、資料を基に報告があった。

《学校教育課長》

2. 「伊勢崎市グローバル教育フェスタ2016について」、11月19日、伊勢崎駅前インフォメーションセンターにおいて、児童生徒による体験報告やALTによる英会話体験レッスン等を行い、本市が取り組むグローバル教育について紹介した旨、資料を基に報告があった。

《四ツ葉学園中等教育学校事務長》

3. 「平成29年四ツ葉学園中等教育学校成人式について」、1月8日、四ツ葉学園中等教育学校において、四ツ葉学園中等教育学校の第1期卒業生を対象とした成人式を開催する旨、資料を基に報告があった。

《宮川委員》

伊勢崎市グローバル教育フェスタ2016については、たくさんの市民の方に伊勢崎市が取り組んでいるグローバル教育について知ってもらえる良い機会となりましたし、子どもたちにとっても、海外での体験を発表する場が与えられて、素晴らしいと思います。今後もっと多くの皆さんに知ってもらえると良いと思いました。

《徳江委員》

駅前広場が整備され、駅前インフォメーションセンターができました。市を挙げて駅前の活性化を行う中で、伊勢崎市が取り組んでいるグローバル教育を多くの市民の皆さんに発表できたことは、大変意義あるものだと思っております。写真にもあるように、伊勢崎市のALTや英語教育に携わっている人、前橋国際大学の学生、ミズーリ州立大学へ語学研修に行った子どもたち、前橋国際大学とともに実施した夏のワークショップに参加した小学生などの多様な人たちが参加でき、効果的であったと感じております。

《大矢委員》

森田議員からの質問に教育行政に対する考えがありますが、この4年間の取り組みの中でとりわけ言いたかったことがあれば紹介していただけますか。

《徳江委員》

伊勢崎で育って伊勢崎で仕事をしていると、伊勢崎のアイデンティティといえますか、この地域が誇れることが見つけにくいと感じます。そのような中で、伊勢崎市教育委員会がこれまで10年以上に渡って取り組んできたグローバル教育というものを紹介できたことをたいへんうれしく思っております。また、モデルとして子ども像や教育像を示すことが、後に続く人たちのやる気やモチベーションになると感じております。

教育長になって感じるのですが、市民の皆さんからは、非常に大きな応援があります。資金的な応援もあれば、人的な応援もあります。市民の皆さんは、

この地域に伝わっている文化を子どもたちに一生懸命教えてくれますし、生涯学習のグループの人たちも文化を残そうとしてくれています。たいへんエネルギーのある町だと思っております、このようなことを議会で述べさせていただきます。

《宮川委員》

前橋国際大学で夏に行う児童向けワークショップは、対象は小学校6年生だったかと思いますが、希望すればみんな参加できるのでしょうか。

《学校教育課長》

前橋国際大学において、6年生を対象に2日間に渡って体験的な英語を学ぶプログラムになっております。希望者はほぼ全員参加しています。単なる講義形式ではなく、課題を与えて自分たちで英語を使って学べるようになっており、非常に楽しいプログラムです。とても好評なので、もっと広げていきたいと思っております。

《徳江委員》

前橋国際大学が地域貢献のために、文科省の指定を受けて行っているものです。前橋国際大学と伊勢崎市とは関係が深く、伊勢崎の子どもたちを対象としたワークショップを行いたいということで始まった事業です。希望者は年々増えております。私も毎年出席しておりますが、子どもたちは非常に意欲的に参加しております。また、企画する学生さんたちは、自分の海外経験や国際交流等の体験を活かした工夫をしてくれており、体験的に英語を学ぶことができるため、非常に人気があります。

《宮川委員》

定員はありますか。

《学校教育課長》

定員はありますが、できるだけ参加できるようにします。

《宮川委員》

たくさん子どもたちに参加してもらえるといいですね。

《萩原委員長》

教育長の取り組みを議会で述べる機会があつて良かったと思います。目に見える形でモデルとしての形を示すことができたことは本当に良かったと思います。ありがとうございます。

その他の事項

————— その他の事項 —————

・ 次回の教育委員会の日程について

1月16日（月）午後2時00分 北館4階会議室

閉 会

————— 閉会宣言 —————

以上により閉会する旨の宣言が委員長よりあつた。